ハイビジョンハードディスクムービー

型名 GZ-HD6/GZ-HD5

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

「安全上のご注意」(P.10)および、「使用上のご注意」(P.12)は、必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

HDD microSDHC HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

写真はシルバータイプです。

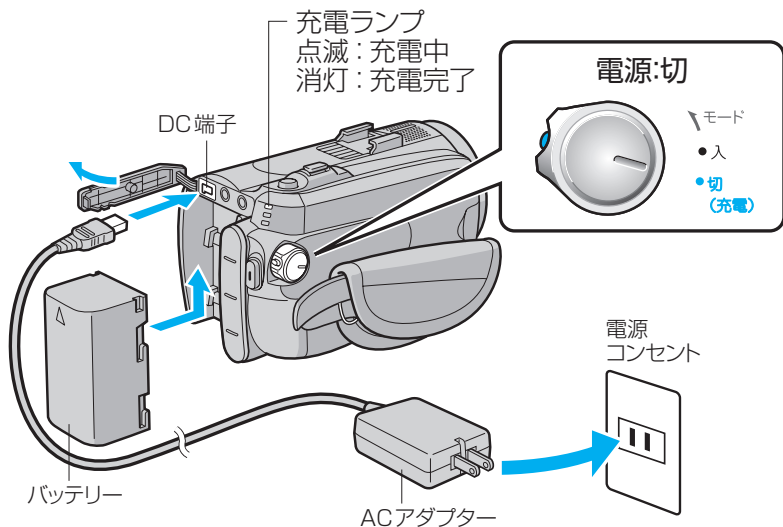
ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

準備
撮影・再生
編集・保存
パソコン
メニュー
困ったとき

かんたん撮影ガイド

撮影前に充電しましょう

電源を切った状態で、バッテリーを取り付けてください。

充電ランプ
点滅：充電中
消灯：充電完了

DC端子

電源:切

モード
● 入
● 切
（充電）

電源
コンセント

バッテリー

ACアダプター

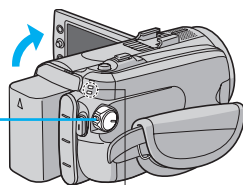
■充電完了後は、時計を合わせましょう ➡(P.30)

撮影の前に、バッテリーを充電し、時計を合わせます。
続いて、次のページで動画を撮影しましょう。

撮影または再生の準備をしましょう

1 画面を開き、電源を入れます

押したまま回す

動画ランプ
静止画ランプ

・画面に「モードを選択してください」と表示されたときは、手順②へ進みます。

・撮影のときは、画面の開閉でも電源の入／切ができます。

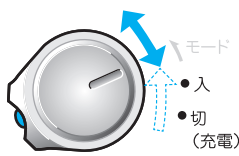
2 動画モードを選びます

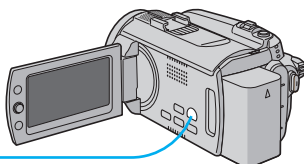
回す度に、
モードが切り換わる

■動画モード

動画ランプが点灯

■静止画モード

静止画ランプが点灯

3 撮影または再生を選びます

押す度に、切り換わる

■撮影のとき

➡P.4へ進む

■再生のとき

➡P.5へ進む

撮影しよう!

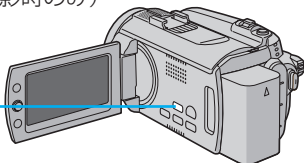
大切な撮影をするまえに、試し撮りをすることをおすすめします。

まずは、簡単な「オート」で撮影しましょう。
すべてオートで設定され、面倒な操作は必要ありません。

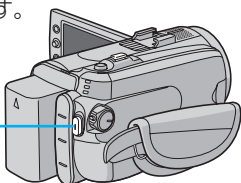
1 オート(AUTO)にします

AUTO

•押す度に、切り換わる（撮影時のみ）

•オート撮影のマークを表示させます。

2 押して撮影します

•押すと、撮影を始めます。
•もう一度押すと、撮影を終えます。

残量時間（録画可能時間）
画質
停止中
FHD [4h56m]
●REC
録画中

ワンポイント

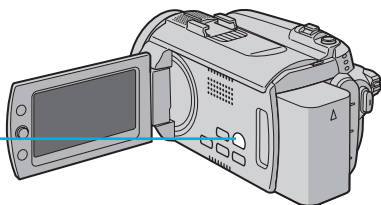
目的に合わせて画質を選んでください。

画質	目的	
FHD	最高画質で記録する	フルハイビジョン（1920×1080i）
SP	高画質で記録する	ハイビジョン（1440×1080i）
LP	長時間、記録する	
1440 CBR	i.LINK出力してダビング編集する（P.72）	

●画質を設定するとき➡動画メニューの「画質」（P.98）

再生しよう!

1 再生を選びます

•押す度に、切り換わる

2 撮影した動画を選びます

3 押す

•再生がスタートします。
•もう一度押すと、再生を終えます。

(再生画面)

■早送り、早戻しなどをするとき ➡(P.36)

■テレビで見るとき ➡(P.48)

撮影したら、こまめに保存しましょう!

●DVDに保存するとき➡(P.62)
●ビデオ機器にダビングするとき➡(P.72、74)
●作成したDVDを再生して確認するとき ➡(P.70)

もくじ

確認する

●安全上のご注意 ･･････････ 10
●使用上のご注意 ･･････････ 12
●付属品/別売アクセサリー ･･ 14
●日常のお手入れ ･･････････ 15
●海外で使うときは ････････ 15
●各部の名前とはたらき
・本体 ･･････････････････ 16
・リモコン ･･････････････ 22
●画面の見かた
・共通 ･･････････････････ 23
・動画のとき ････････････ 24
・静止画のとき ･･････････ 25

■本書のアイコン
🎥は動画モードの、
📷は静止画モードの
機能をあらわします。

準備する

まずは!

①付属品を取り付ける ･････ 26
・グリップベルト
・リモコン電池
・フェライトコア
②microSDカードを入れる ･･ 27
③充電する ･･････････････ 28
・バッテリー残量の目安を調べるとき
④時計表示を合わせる ･････ 30
⑤基本操作を覚えよう ･････ 32
・電源を入／切する
・動画🎥／静止画📷を選ぶ
・撮影／再生を選ぶ
・オート／マニュアルを選ぶ

撮影する／再生する

●動画／静止画を撮る‥‥‥ 34
・ズームするとき
・残量を確認するとき

●動画／静止画を見る‥‥‥ 36
・再生時の操作
・スライドショーで見るとき

●消去する／保護する‥‥‥ 38

●イベントを動画に登録する‥ 40
・一度登録したイベントを変更するとき

●探して見る(インデックス) ‥ 42
・撮影日から探す
・イベントと撮影日から探す

●場面や状況に合わせる(プログラム AE)‥‥‥‥‥ 44
・ポートレート／スポーツ／スノー／スポットライト／夜景

●ピントを合わせる‥‥‥‥‥ 46
・フォーカスアシスト
・マニュアルフォーカス

●テレビで見る‥‥‥‥‥‥‥ 48
・ハイビジョンテレビ
・従来型テレビ

編集する

●いろいろな編集‥‥‥ 51

●プレイリストをつくる‥ 52
・すべての動画から選ぶ
・撮影日から探す
・イベントと撮影日から探す

●プレイリストを編集する‥ 56
・編集する
・名前を変更する
・削除する

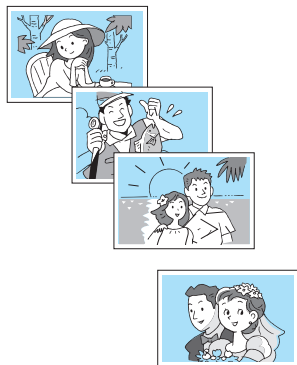
●プレイリストを見る‥ 58

●撮影時間／枚数の目安‥ 59

●映像に効果をつける‥ 60
・エフェクト
・場面切替

もくじ(つづき)

保存する 選べる!

- いろいろな保存 ･････････ 62
  - ･DVDライターほか
- DVDライターを準備する 64
- まとめてDVDに保存する 65
  - ･すべてのファイルを
  - ･未保存のファイルを
- 選んでDVDに保存する‥ 66
  - ･選んだ撮影日だけを
  - ･選んだファイルだけを
  - ･選んだイベントの動画だけを
  - ･選んだプレイリストを
- バックアップDVDを見る‥ 70
  - ･本機とDVDライターで
  - ･DVDライターだけで
  - ･パソコンで
- ハイビジョン画質でダビングする ･･･････････ 72
  - ･HDV機器に
- 標準画質でダビングする ‥ 74
  - ･DVDレコーダーに
  - ･DVカメラに
  - ･ビデオデッキに
- HDD↔microSDカードに移す ･･････････････････ 76
  - ･すべての静止画を
  - ･選んだ静止画を
- プリント指定する(DPOF)‥78
  - ･静止画や枚数を選ぶ
  - ･すべての静止画を1枚ずつ

パソコンとつなぐ

Windowsの場合

●パソコンでこのようなことができます ………………… 80
●パソコンにインストールする … 82
・動作環境
●パソコンと接続する …… 84
●新しいファイルを保存する … 85
●メディアを選んでファイルを保存する…… 86
●付属ソフトを使う ……… 87

Macintoshの場合

●このようなことができます（Mac） ………………… 88
●インストールする（Mac） … 90

共通

●フォルダとファイルの一覧 … 91

メニューを使う

●被写体や目的に合わせる………… 92
・ファンクション
●設定を変える……… 96
・動画メニュー
・静止画メニュー
・共通メニュー
・出力設定メニュー
・メディアメニュー

困ったとき

●故障かな!?……… 106
●こんな表示が出たら 114
●付属ソフトで困ったときは ………… 117
●仕様…………… 118
●技術情報………… 120
●さくいん ………… 121
●保証とアフターサービス… 122

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと		禁止されていること				実行して欲しいこと
一般的注意	感電注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	水場での使用禁止	一般的指示

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

分解・改造をしない
・火災や感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属のACアダプター以外は使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

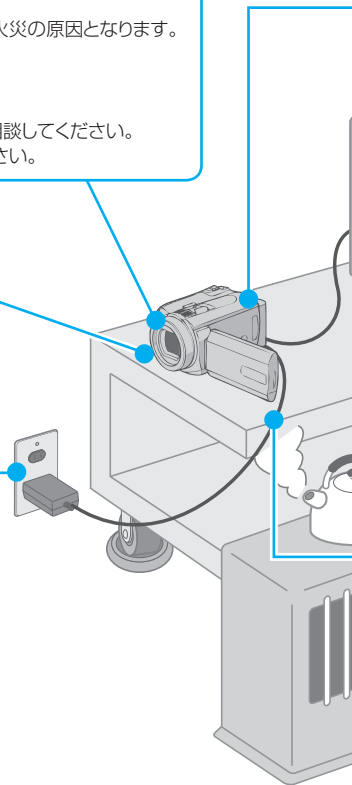
禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない
・感電の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

禁止

内部に物を入れない
･microSDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない
･集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない
･交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪が降る中やふろ場などで使用しない
･内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

⚠注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください
･湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
･本機からの電磁波が計器類に影響を与えるおそれがあります。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
･コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

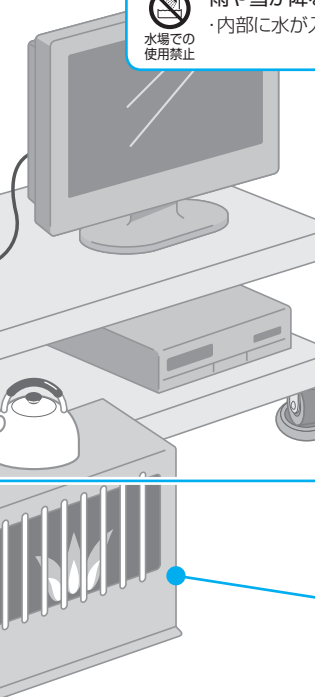
一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
･電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

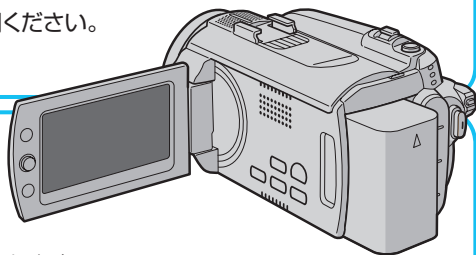
禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
･火災や感電、故障の原因になります。

禁止

熱源の近くでは、使用しない
･火災や故障の原因になります。

使用上のご注意

本機について

- 精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
  ハードディスク（HDD）が認識されなくなったり、記録や再生ができなくなります。
- 本機とリモコンを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
  高温になると、内部の電池が破裂することがあります
- 本機に内蔵されたハードディスク（HDD）と、市販のmicroSDカードに記録できます。
- 撮影したデータはパソコンやDVDに保存してください。
  データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。
- SD-VIDEO規格に準拠したMPEG2方式で動画を記録・再生します。
  DV方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。
- 気圧の低い場所（海抜3000m以上）では使用できません。
- 浜辺など砂ぼこりが多いところに置かないでください。
- 指定された動作環境でご使用ください。
  （P.118）

液晶画面について

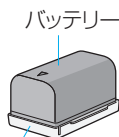
- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
  傷がついたり、割れる場合があります。

ハードディスクについて

- 振動や大きな音がする場所で使用しないでください。
- 本機を動かすと、落下検出機能が働いて電源が切れることがあります。
  （P.103）

バッテリー(充電式電池)について

- 正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。
- ご購入時は充電されていません。(P.2)
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせない)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 長期間使わないときは…
  ①劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずします。
  　撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
  ②半年に１回程度は充電し、使い切って保管します。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15～25℃の乾燥したところで保管してください。

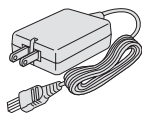
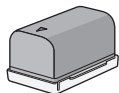
- バッテリーを処分する際はP.120をご覧ください。

■カメラやmicroSDカードを廃棄/譲渡するときは、データの流出にご注意ください

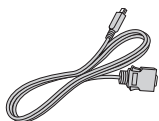
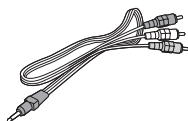
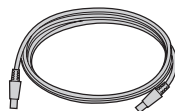
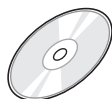
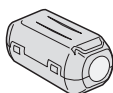
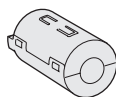
- カメラやパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。市販のデータ復元(修復)ソフトなどで、データを復元できる場合があります。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ(ハードディスク)やmicroSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の機能を使って廃棄するには、P.105をご覧ください。

■イラスト・画面について

- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

付属品／別売アクセサリー

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、
または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

ACアダプター
AP-V14

バッテリーパック
BN-VF815

ワイヤレスリモコン
RM-V750

専用D端子ケーブル

専用AVコード

専用USBケーブル
Aタイプ－ミニBタイプ

CD-ROM

フェライトコア（小）
ACアダプター用
（P.26）

フェライトコア（大）
i.LINKケーブル用
（P.26）

取扱説明書
（本書）

■別売アクセサリー（詳しくはカタログをご覧ください。）

バッテリーパック	BN-VF808
バッテリーパック	BN-VF815
バッテリーパック	BN-VF823
バッテリーチャージャー	AA-VF8

バッテリーキット	VU-V840KIT※
バッテリーキット	VU-V856KIT※
DCコード	VC-VBN800
DVDライター	CU-VD40
DVDライター	CU-VD3

※ VU-V840KITとVU-V856KITは、バッテリーを本機に直接取り付けずに、付属のポーチに入れたバッテリーを、別売のDCコード（VC-VBN800）で本機と接続して使います。

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。(損傷や故障の原因) ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 (汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因)

海外で使うときは

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。
ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

■訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

コンセントの形状(主な使用国)	(北米・南米など)	(オーストラリア)	(ヨーロッパ)		
使用する変換プラグ	必要ありません				

■次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生することができます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」(P.48)をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

各部の名前とはたらき

動画／静止画ランプ
動画または静止画のときに点灯

アクセスランプ／充電ランプ
記録中や再生中に点灯または点滅
充電中に点滅、充電完了で消灯

ズーム／音量レバー

撮影中

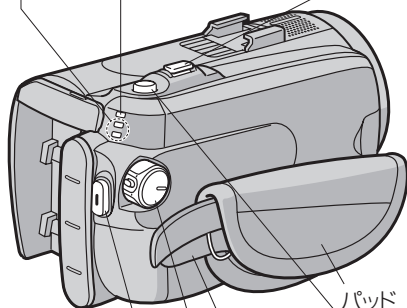
広く／大きく撮る(P.34)

〈W側〉

〈T側〉

動画再生中

音量を変える(P.36)

静止画再生中／動画停止中

一覧(　)／全画面(　)表示を切り替える

静止画ボタン

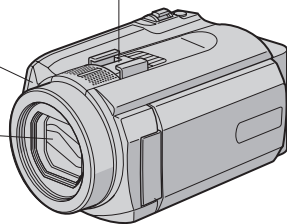
静止画を撮影する(P.35)

録画ボタン

動画を撮影する
(P.34)

電源／モードスイッチ

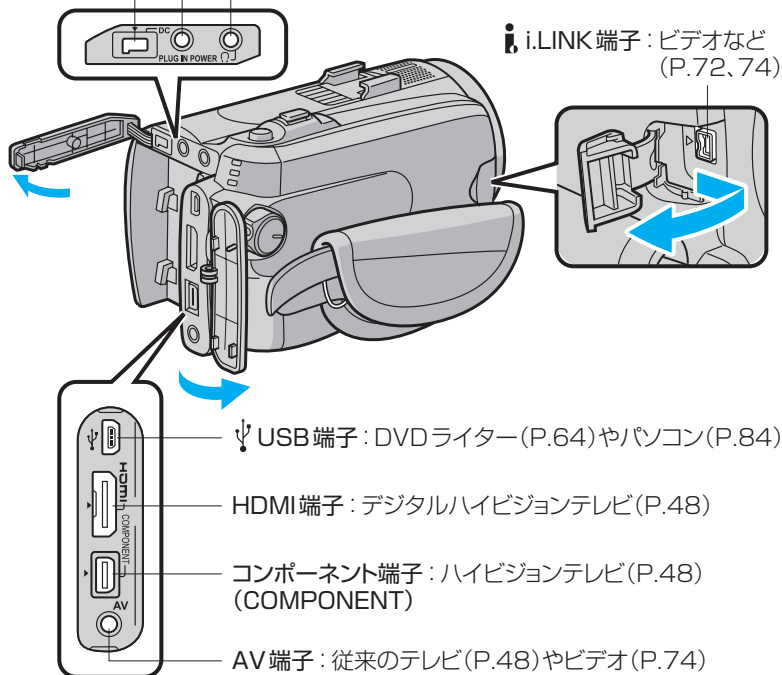
電源を入れる(P.32)、
またはモードを切り替える(P.32)

〈動画モード〉　〈静止画モード〉

DC端子：電源コンセント（P.28）

MIC端子：外部マイク（P.99）

ヘッドホン端子：ヘッドホン（GZ-HD6のみ）

DC
PLUG IN POWER

i.LINK端子：ビデオなど（P.72、74）

USB端子：DVDライター（P.64）やパソコン（P.84）

HDMI端子：デジタルハイビジョンテレビ（P.48）

コンポーネント端子：ハイビジョンテレビ（P.48）
（COMPONENT）

AV端子：従来のテレビ（P.48）やビデオ（P.74）

HDMI
COMPONENT
AV

各部の名前とはたらき

残量表示／インデックスボタン

撮影

残量時間を表示する(P.35)

〈残量時間〉

〈充電状況〉

再生

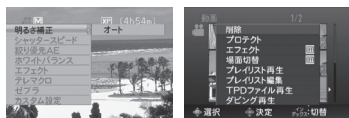
見たい画像を探す(P.42)

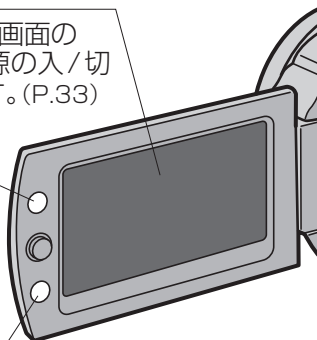
〈インデックス〉

〈イベント〉

〈日付〉

ファンクションボタン

便利な機能を使う(P.92)

画面

撮影中は、画面の開閉で電源の入／切ができます。(P.33)

ダイレクトバックアップ／イベントボタン

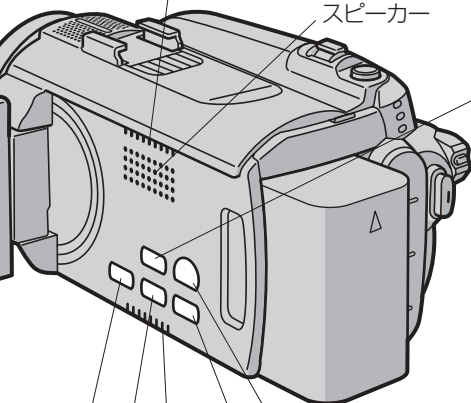
撮影 再生

イベントを登録する(P.40)

Windows接続中

パソコンに保存(バックアップ)する(P.85)

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にする(P.46)

オート/インフォボタン

撮影

オート撮影／マニュアル撮影を切り換える（P.32）

AUTO 〈オート〉

MANUAL 〈マニュアル〉

再生

撮影日などのファイル情報を見る（P.36）

〈ファイル情報〉

〈ヒストグラム〉（静止画のみ）

切換ボタン

撮影／再生を切り換える（P.32）

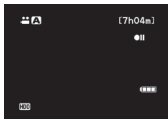
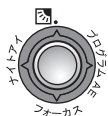
〈撮影 P.34〉

〈再生 P.36〉

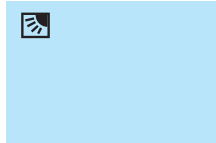
メニュー

メニューボタン

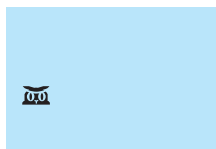
設定を変える（P.96）

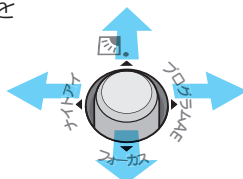
(P.98)
(P.100)
(P.102)
(P.104)
(P.105)

各部の名前とはたらき

逆光補正／プログラムAE／フォーカス／ナイトアイキー

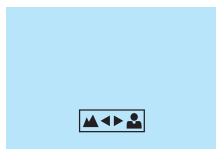
マニュアル撮影中　被写体や目的に合わせて、撮影時の機能を使う

逆光を補正する

●「⬆」押す度に…

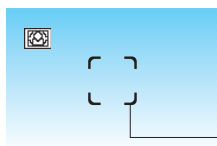
- ：逆光補正
- ：スポット補正
- （なし）：補正なし

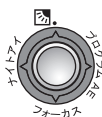
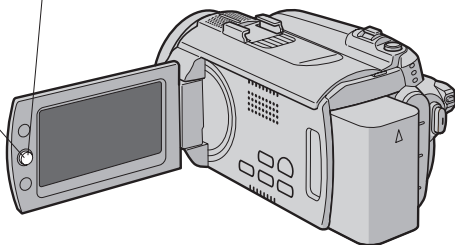
暗いところで感度を上げる（最大30倍）

●「⬅」押す度に…

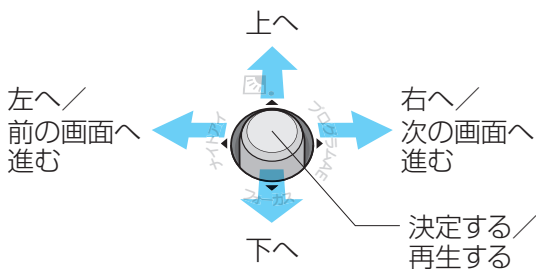
- ：ナイトアイ
- （なし）：補正なし

状況に合わせる（P.44）

ピントを合わせる（P.46）

- ：遠くに合わせる
- ：近くに合わせる

■画面のスポット枠を明るさの基準にしたいとき

➡①スポット補正にする　②基準にする位置を選び、決定する

●スポット枠が動く

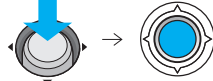
●明るさを固定するとき
➡手順②で決定ボタンを２秒以上押し続ける（Lと表示）

十字キー

再生　インデックス画面などで移動・選択・決定する

■再生中の操作 ➡(P.36、37)

■本書では、十字キーを次のように説明しています

（左右に動かすとき）

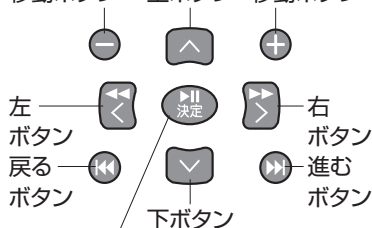
●「⇔」押す

（中心を押し込むとき）

●「決定」ボタン押す

各部の名前とはたらき

●落下などによる
けがや故障を防ぐため、
お使いの三脚の説明書
をご覧になり、確実に取
り付けてください。

リモコン

ズームボタン(T:拡大する/W:縮小する)
(再生ズームは、動画の一時停止中や静止画の静止中に使う)

●ズームボタンで拡大中は、上下左右ボタンで拡大位置を移動できます。

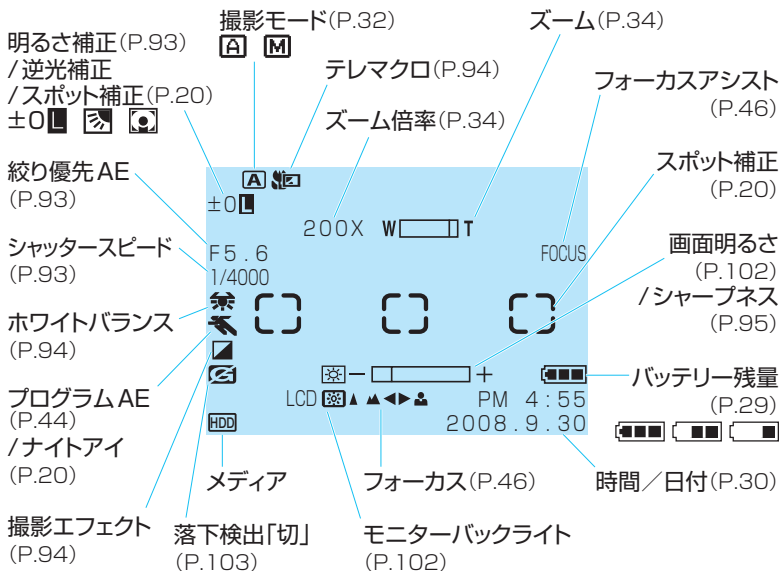
●リモコンは受光部(P.17)に正面から向け、約5m以内でご使用ください。

画面の見かた

共通

撮影時

明るさ補正(P.93)/逆光補正/スポット補正(P.20)
撮影モード(P.32)
ズーム(P.34)
テレマクロ(P.94)
フォーカスアシスト(P.46)
ズーム倍率(P.34)
絞り優先AE(P.93)
スポット補正(P.20)
シャッタースピード(P.93)
画面明るさ(P.102)/シャープネス(P.95)
ホワイトバランス(P.94)
バッテリー残量(P.29)
プログラムAE(P.44)/ナイトアイ(P.20)
メディア
フォーカス(P.46)
時間/日付(P.30)
撮影エフェクト(P.94)
落下検出「切」(P.103)
モニターバックライト(P.102)

±0 200X W T F5.6 1/4000 FOCUS LCD PM 4:55 2008.9.30 HDD

■メニュー表示中など、操作のヒント(ガイド)が表示されます

操作ガイド表示

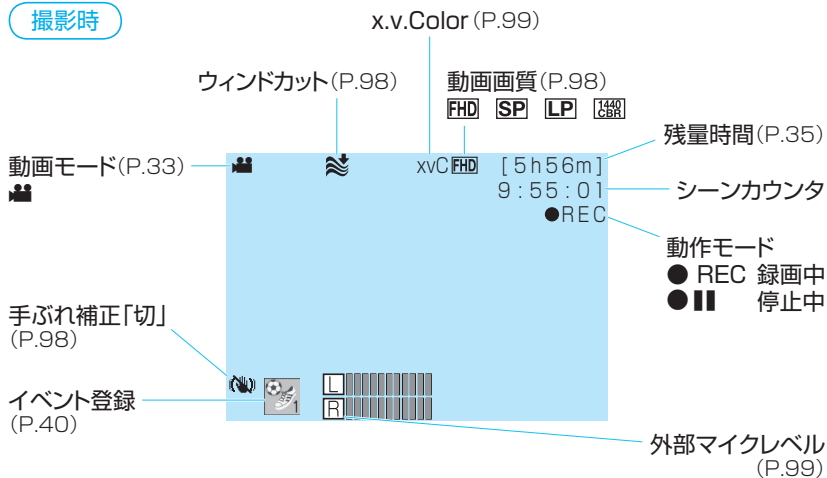
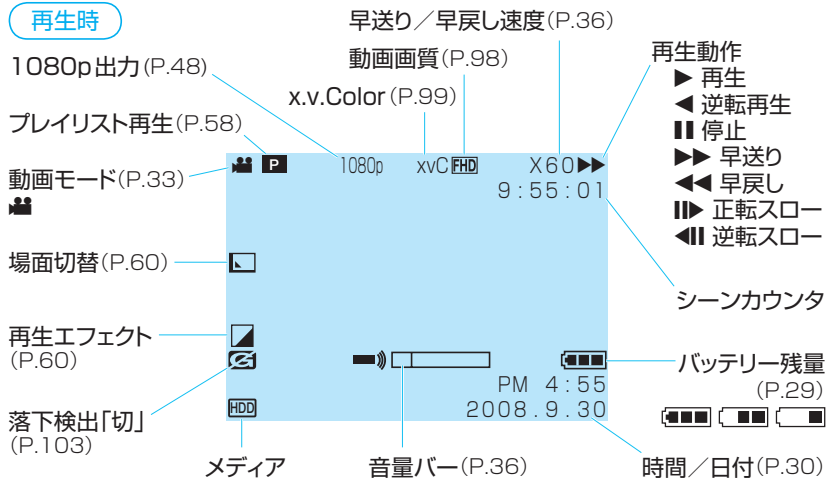
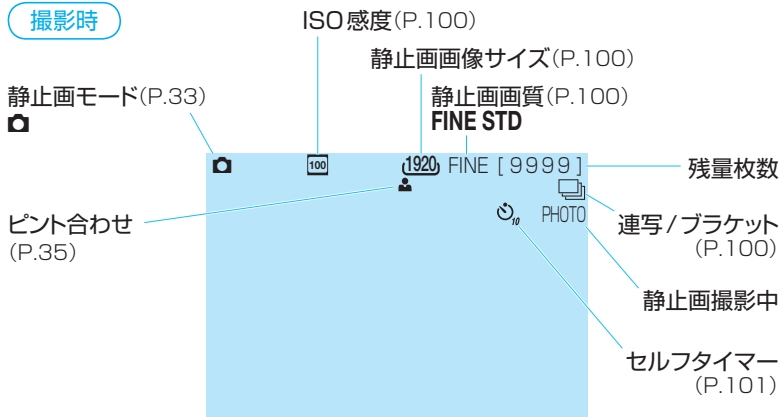
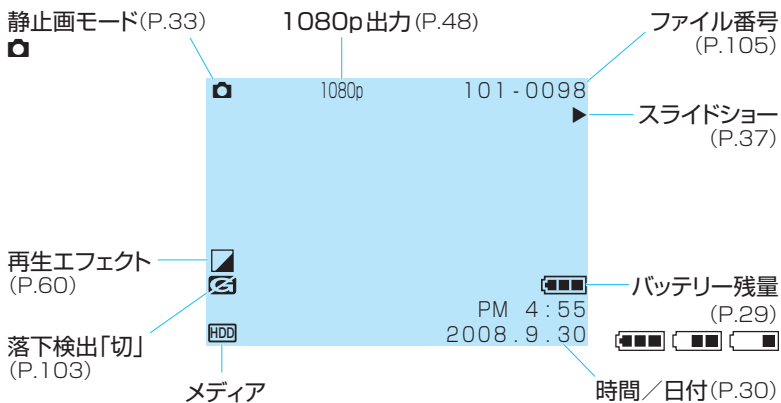
画面の見かた

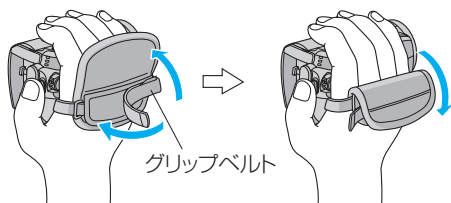
動画のとき

静止画のとき

撮影時
ISO感度(P.100)
静止画画像サイズ(P.100)
静止画モード(P.33)
静止画画質(P.100)
FINE STD
100
1920
FINE [9999]
残量枚数
PHOTO
ピント合わせ
(P.35)
連写/ブラケット
(P.100)
静止画撮影中
セルフタイマー
(P.101)

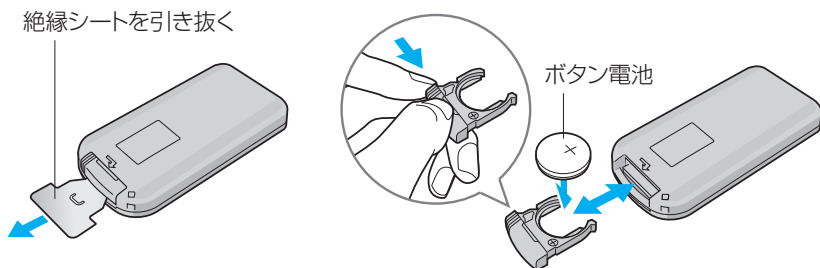
再生時
静止画モード(P.33)
1080p出力(P.48)
ファイル番号
(P.105)
1080p
101-0098
スライドショー
(P.37)
再生エフェクト
(P.60)
バッテリー残量
(P.29)
PM 4:55
2008.9.30
落下検出「切」
(P.103)
HDD
メディア
時間/日付(P.30)

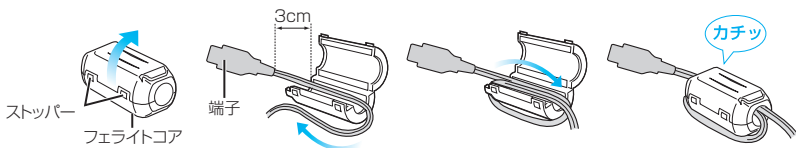
準備 1

付属品を取り付ける

グリップベルトを調節する

お知らせ

- ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。
- お子様は、大人と一緒にご利用ください。

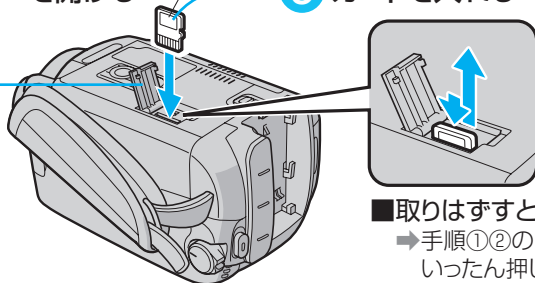
リモコン電池の用意をする

■電池を入れ替えるとき

フェライトコアをi.LINKケーブルやACアダプターに取り付ける

1. 両側のストッパーをはずし、開く
2. 本機側の端子から約3cmの位置に取り付ける
3. 1回巻き付ける
4. ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

お知らせ

- 本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。
- i.LINKケーブルは別売です。ビクター製品をお買い求めください。

準備 2 microSDカードを入れる

ファイル（動画と静止画）の記録先を分けたいときや、撮影した静止画をお店でプリントしたいときなどには、市販のmicroSDカードを入れておくと便利です。
（microSDカードがなくても撮影できます）

■取りはずすとき
➡手順①②のあと、
いったん押し込んでから、
取り出す

■動画や静止画をmicroSDカードに記録するとき
➡「動画メディア」（P.99）、「静止画メディア」（P.101）

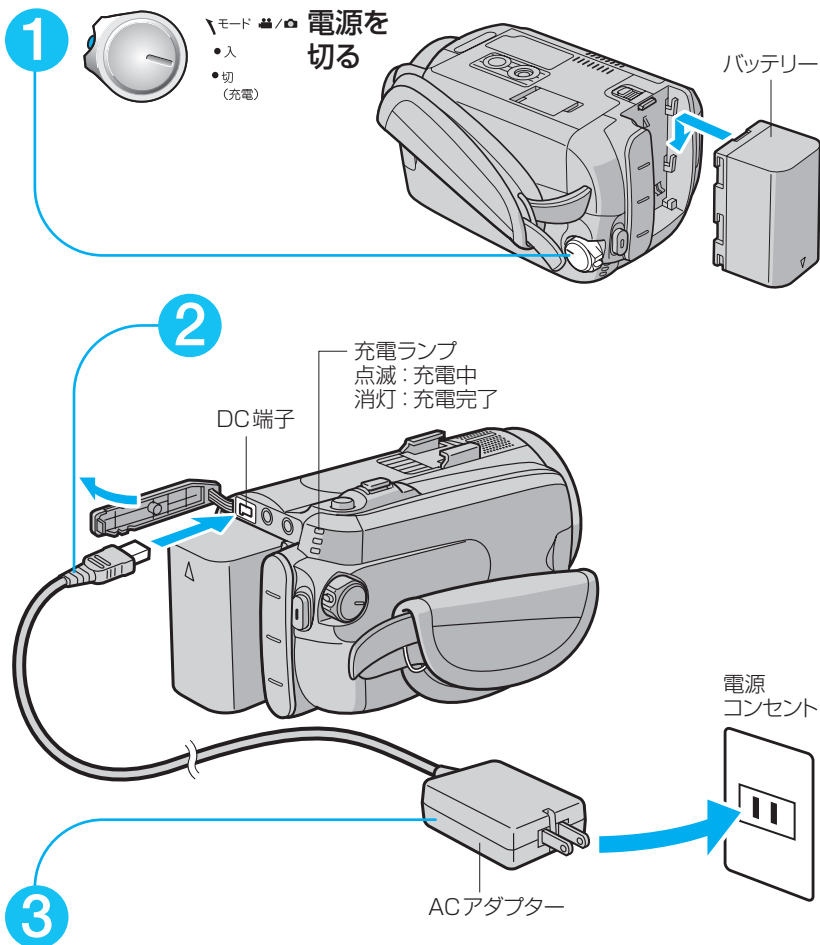
■本機（HDD）の静止画をmicroSDカードに移すとき ➡（P.76）

お知らせ

● 次のmicroSDカードで動作を確認しています。（※）
  動画　：Class 6対応のmicroSDHCカード（4GB）
  静止画：microSDカード（128MB～2GB）またはmicroSDHCカード（4GB）

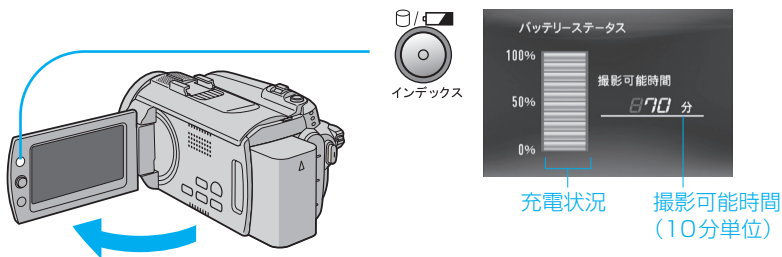
  ※松下Panasonic・東芝TOSHIBA・サンディスクSanDisk・ATP
  上記以外のmicroSDカード（microSDHCカードを含む）では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
● microSDカードに記録した動画は、画質が「SP」になるため、HDV機器にハイビジョン画質でダビングできません。
● microSDカードに記録した動画は、弊社のハイビジョンハードディスクムービーでのみ再生できます。

準　備 3

充電する

お知らせ　●充電時間の目安は、付属のバッテリーで約2時間40分です。（室温10℃～35℃の範囲を想定）

撮影前にバッテリーを充電します。
ACアダプターを接続したまま、撮影や再生ができます。

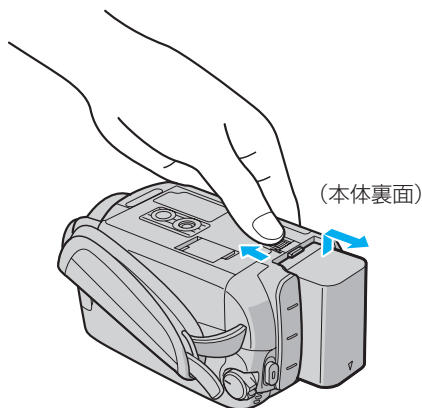
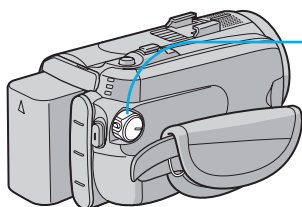
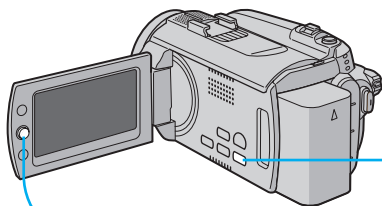
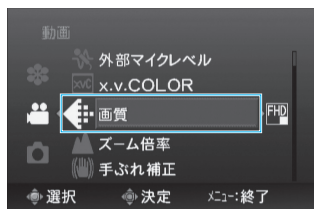
■バッテリー残量の目安を調べるとき
（電源「切」時）

充電状況　撮影可能時間（10分単位）

●約３秒間表示します。
（ボタンを２秒押しすると、約１５秒間表示）
●撮影のときにも調べられます。
動画停止中（ボタンを２回押す）
静止画撮影中（ボタンを１回押す）

■自宅で撮影するとき／充電が間に合わないとき
➡ACアダプターを接続したまま、撮影または再生する

■バッテリーを取りはずすとき

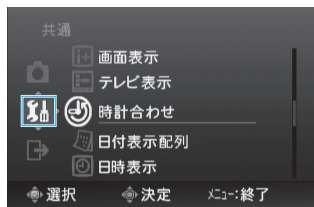
（本体裏面）

撮影・再生
編集・保存
パソコン
メニュー
困ったとき

準　備 4
時計表示を合わせる

■終了するとき
➡「メニュー」ボタン押す

■一つ前に戻るとき
➡「⬅」押す

お知らせ

●日付や時刻の表示・非表示は、「日時表示」で設定できます。(P.102)

「」を選び、決定する

撮影時などに自動で記録される日付や現在時刻を設定します。

日付と時刻を合わせる

時計合わせ

日付と現在時刻を合わせます。

①「時計合わせ」を選び、決定する

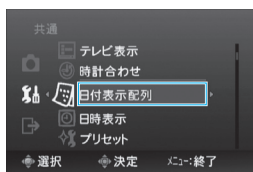
②日付・時刻をそれぞれ選び、決定する

●やり直すとき
➡「⬅」で戻る

日付配列と時刻表示を変える

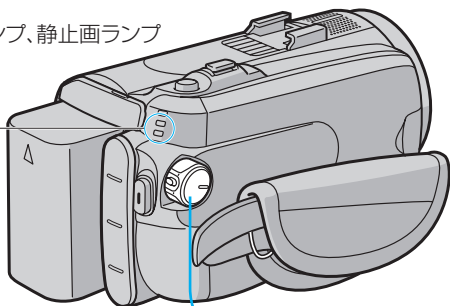
日付表示配列

日付と時刻の表示方法を変えられます。

①「日付表示配列」を選び、決定する

②日付配列と時刻表示をそれぞれ選び、決定する

●日付は、
「年.月.日」
「日.月.年」
「月.日.年」
●時刻は、
「12h」「24h」

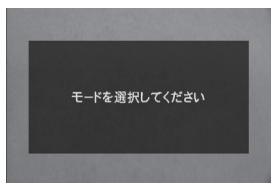
準　備 5

基本操作を覚えよう

電源を入／切する

電源/モードスイッチ

動画／静止画を選ぶ

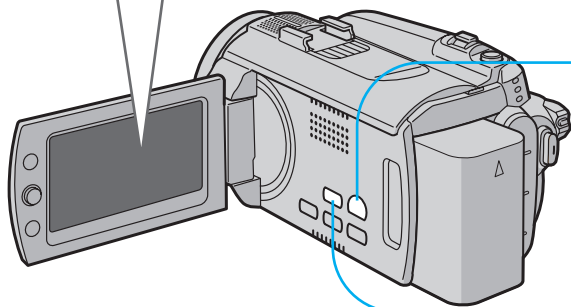
電源/モードスイッチ

●「モードを選択してください」と表示されたとき

モードを選ぶ

撮影／再生を選ぶ

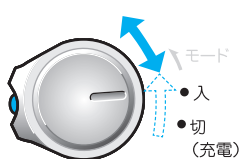
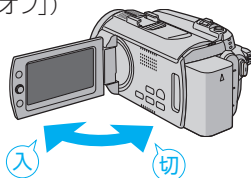
切換ボタン

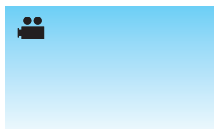
オート／マニュアルを選ぶ

AUTOボタン

この操作は、撮影や再生・編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、準 備の操作として説明を省略しています。

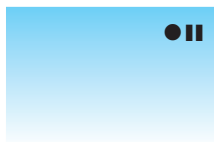
押したまま回す

●撮影のときは、画面の開閉でも電源の入／切ができます。（「クイックパワーオフ」）

●節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。（バッテリー使用時のみ）

回す度に、
モードが切り換わる

■動画モード

動画ランプが点灯

■静止画モード

静止画ランプが点灯

押す度に、切り換わる

■撮影のとき

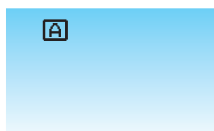
■再生のとき

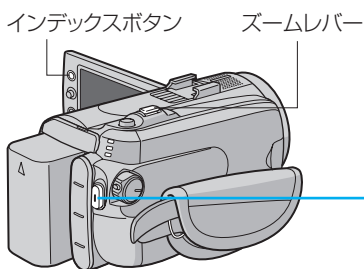
押す度に、切り換わる
（撮影時のみ）

■オート撮影のとき

■マニュアル撮影のとき

撮影 再生 1

動画／静止画を撮る

動画を撮る

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」

1 押す
（撮影を開始）
（もう一度押すと停止）

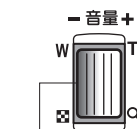
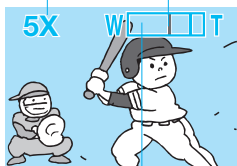
● 1つの動画ファイルの容量は最大4GBです。長時間撮影ではファイルが分割されて保存されます。
●（GZ-HD6）ヘッドホンの音量は、再生時に設定した音量になります（P.36）。

■より長時間の動画を撮りたいとき
➡「画質」（P.98）

■映像に効果をつけて撮るとき
➡「エフェクト」（P.94）

■暗いところで撮るとき
➡マニュアル撮影の「ナイトアイ」（P.20）

■被写体が暗く写るとき
➡マニュアル撮影の「逆光補正」（P.20）

■ズームするとき

●戻すとき

光学ズーム（1～10倍）

デジタルズーム（11～200倍）：映像が粗くなる、動画のみ

オート撮影(P.32)では、明るさやピントが自動的に調整されます。
マニュアル撮影(P.32)では、ファンクションメニューで調整できます(P.92)。

静止画を撮る

●電源/モードスイッチ:📷モード
●切換ボタン:「撮影」

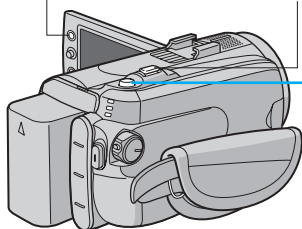
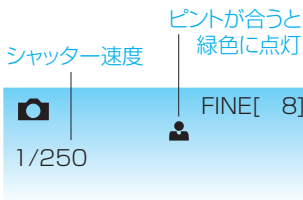
インデックスボタン　ズームレバー

1 半押しする
(ピントを合わせる)

ピントが合うと緑色に点灯
シャッター速度

2 全押しする
(シャッターを切る)

残り枚数
画質

記録中

■セルフタイマーを使うとき
➡「セルフタイマー」(P.101)

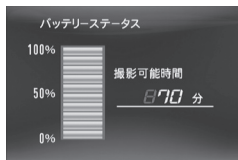
■連写するとき ➡「連写」(P.100)

■再生中の動画を静止画にするとき
➡静止画ボタンを押す(P.36)

●より多くの静止画を撮りたいときは、「画質」や「画像サイズ」を変更します。(P.100)

■残量時間やバッテリー残量を調べるとき

FHD:最高画質
SP:高画質
LP:長時間用
1440:固定ビットレート

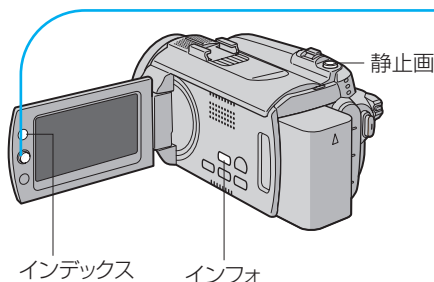
バッテリーステータス
100%
50%
0%
撮影可能時間
70 分

●HDDやmicroSDカードの使用状況と残録画時間(動画のみ)
撮影「停止中」

●バッテリーの充電状況と撮影可能時間
電源「切」

撮影 再生 2

動画／静止画を見る

動画を見る

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 動画を選ぶ

（インデックス画面）

2   押して再生する

（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡（停止中）「インデックス」ボタン押す

■撮影日や撮影時間などを見るとき
➡（停止中）「インフォ」ボタン押す

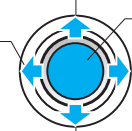
■撮影日などから探して見るとき ➡（P.42）

■テレビで見るとき ➡（P.48）

■動画再生の１コマを静止画にするとき
➡（停止中）「静止画」ボタン押す

■再生時の操作

⏮：シーン先頭へ戻る

◀◀：早戻し／コマ戻し（停止中）、スロー戻し（停止中、長押し）

▶/❚❚：再生／停止

▶▶：早送り／コマ送り（停止中）、スロー送り（停止中、長押し）

⏭：次の動画へ進む

スピーカー／ヘッドホン音量（GZ-HD6のみ）

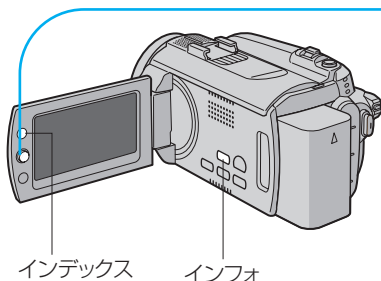
ー：音量小　＋：音量大

●早送り／早戻し中は、「⬅➡」に動かす度に、再生速度が変化する。（60倍速まで）

撮影した動画や静止画を、
一覧表示（インデックス画面）から選んで再生できます。

静止画を見る

準備 ●電源／モードスイッチ：📷モード
●切換ボタン：「再生」

1 **静止画を選ぶ**

（インデックス画面）

2 **押して再生する**

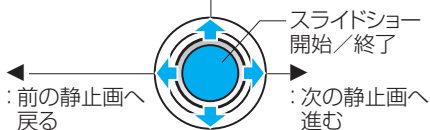
（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡「インデックス」ボタン押す

■撮影日やサイズなどを見るとき
➡「インフォ」ボタン押す

■撮影日などで探して見るとき ➡（P.42）

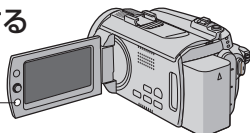
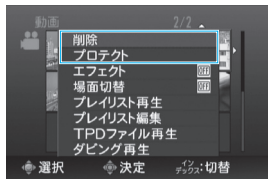
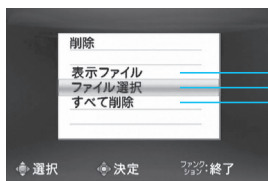
■明るさを確認するとき
➡手順②のあと「インフォ」ボタンを2度押し、ヒストグラムを調べる（P.95）

■再生時の操作

●スライドショーを再生中は、「⬆⬇」で再生順が逆になる。

撮影 再生 3

消去する／保護する

●電源／モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「削除」または「プロテクト」を選び、決定する

3 削除またはプロテクトする方法を選び、決定する

1ファイルずつ
表示ファイル

複数のファイルを選んで
ファイル選択

すべてまとめて
すべて削除
すべてプロテクト
すべて解除

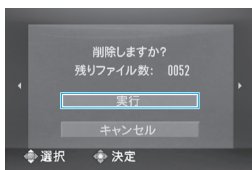
■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■誤消去防止のプロテクトをやめるとき
➡プロテクトするときと同じ手順で、プロテクトを解除する

※画面は🎥動画の削除の場合

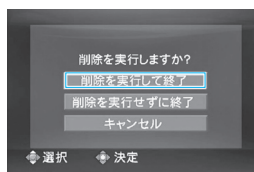
いらなくなった動画や静止画を削除したり、
大切な画像に誤消去防止の保護（プロテクト）をかけることができます。

いま選ばれている動画や静止画を、1つずつ削除またはプロテクトします。

①「実行」を選び、決定する

削除またはプロテクトしたい動画や静止画を選び、まとめて実行します。

①画像を選び、決定する

②まとめて「削除」または「プロテクト」する

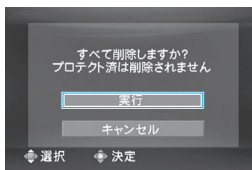
ファンクション

「🗑（削除）」または「🔑（プロテクト）」が表示

●別のファイルを選ぶとき➡手順①を繰り返す。
●解除するとき➡再び画像を選び、決定する。

③削除する場合は「削除を実行して終了」を選び、決定する

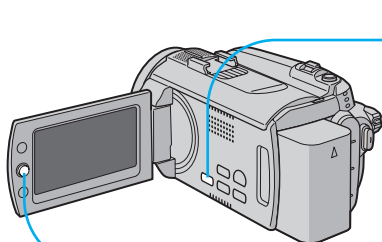
●プロテクトする場合は「終了」を選ぶ。

すべての動画、またはすべての静止画を、削除またはプロテクトします。

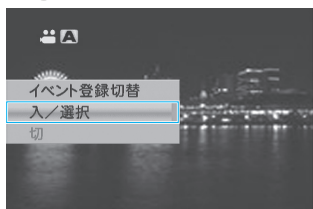
①「実行」を選び、決定する

●プロテクトするときは、
「すべてプロテクト」か
「すべて解除」が選べる。

オート撮影 4

イベントを動画に登録する

準備 ●電源/モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」

1

イベントメニューを表示する

2 「入/選択」を選び、決定する

■終了するとき
➡「イベント」ボタン押す

■イベントの登録をやめるとき
➡手順②で「切」を選ぶか、
手順③で「設定なし」を選ぶ

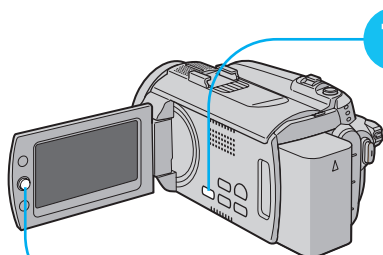
3

イベントの種類を選び、決定する

●決定後、撮影する動画に選んだイベントが登録され、画面にアイコンが表示されます。(P.24)
(変更するまで同じイベントが登録され続けます)

撮影する前に、「旅行」「運動会」「ペット」などのイベントを登録しておくと、動画をイベントごとにまとめることができ、検索や整理が楽になります。

一度登録したイベントを変更するとき

準 備 ●電源 / モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1

イベント画面を表示する

2 **変更後のイベントを選び、決定する**

■終了するとき
➡「イベント」ボタン押す
「保存して終了」を選び、決定する

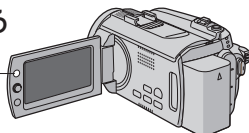
3 **動画を選び、決定する**

登録されているイベント

探して見る（インデックス）

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「再生」（停止状態）

1 インデックスを表示する

（押す度に、切り換わる）

（インデックス画面）

（日付検索画面）

（イベント検索画面：
🎥動画のみ）

🎥📷
撮影日から探す
日付検索

イベントと撮影日から探す
イベント検索

■中止するとき
➡「インデックス」ボタン押す

動画や静止画を、撮影日や登録したイベントなどで検索し、
一覧表示させることができます。

撮影日で絞り込んで動画や静止画を表示します。

①撮影日を選び、決定する

選んだ撮影日

②動画や静止画を選び、決定する

●選んだ日に撮影した動画・静止画のみ表示される。

イベントの種類と撮影日で絞り込んだ動画を表示します。
（設定されていないイベントは、表示されません。P.40）

①イベントの種類を選び、決定する

イベント　イベント名

②撮影日を選び、決定する

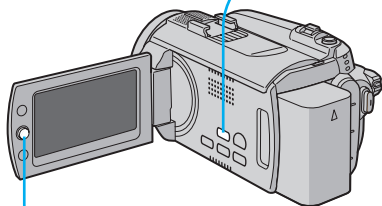
●選んだイベントを含む撮影日のみ表示される

③動画を選び、決定する

●選んだ日に撮影した動画のみ表示される。
●選んだイベントのすべての動画を見るとき➡手順②で「すべてのシーン」を選ぶ。

撮影再生 6

場面や状況に合わせる（プログラムAE）

準備 ●電源／モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「撮影」

1 AUTO マニュアル撮影にする

MANUAL

2 プログラムAEを開く

3 最適なモードを選び、決定する

選んだモードのアイコン

■終了するとき

➡手順2で「OFF」にする

■設定を解除するとき

➡手順③で別のモードまたは「OFF」を選ぶ

撮りたいものに合わせて露出やシャッタースピードを調節し、
最適な設定で撮影できます。

ポートレートモード
：背景をぼかして、人物を
浮かび上がらせる。

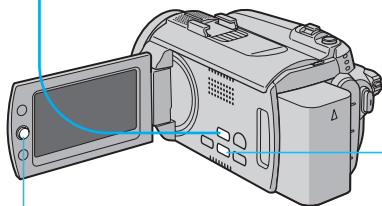
スポーツモード
：動きの速いものを
1コマ1コマ鮮明に。

スノーモード
：晴れた日の雪原などで、
被写体が暗く映ることを防ぐ。

スポットライトモード
：ライトの中の人物が
明るくなりすぎない。

夜景モード
：夜景などを自然な感じに。

撮影 再生 7 ピントを合わせる

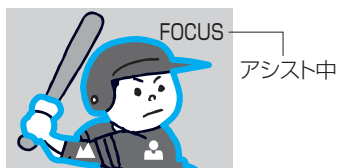
準備 ●電源／モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「撮影」

お知らせ

●フォーカスアシストとマニュアルフォーカスは、同時に使えます。

ピントが合っているかわからないときは、フォーカスアシストで確かめます。
ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調節します。

画面の表示を一時的にモノクロにし、ピントが合っている画像の輪郭線を青色で表示します。

●押す度に…

→FOCUS ：アシスト中
（モノクロ表示、輪郭のみ青色）
↓
（なし） ：切
（カラー表示）

●輪郭線の色を変えたいとき
➡「フォーカスアシスト」（P.103）

お知らせ

●暗いところなどでフォーカスアシストを使うと、ざらついた部分に色が付いて輪郭色が見にくくなります。

オートフォーカスではピントが合いにくい場合に、マニュアルフォーカスを使います。
（同時にフォーカスアシストを使うと、ピント合わせが簡単になります。）

①マニュアルフォーカスにする

●「⬇」押す度に…

マニュアルフォーカス ←
↓
（なし） ：オートフォーカス

②ピントを合わせ、決定する

近くに合わせる
遠くに合わせる

お知らせ

●ズームを使うときは、望遠（T）でピントを合わせてから広角（W）にすると、ピントがズレにくくなります。

撮影 再生 **8**

テレビで見る I

準備 ●電源／モードスイッチ：「切」
●お使いのテレビの説明書もご覧ください

1 テレビに接続する

2 電源を入れ、切換ボタンで「再生」にする

3 再生する

●動画を見るとき➡P.36
●静止画を見るとき➡P.37
●インデックスから探して見るとき➡P.42
●プレイリストを見るとき➡P.58

■日付などの表示を消すとき
➡「テレビ表示」(P.103)

■日付だけを表示するとき
➡「日時表示(入)またはオート)」(P.102)
「画面表示(切)」(P.103)
「テレビ表示(入)」

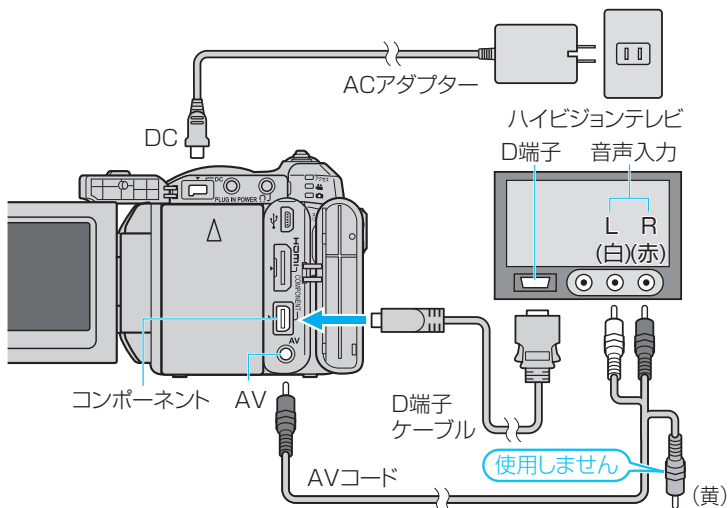
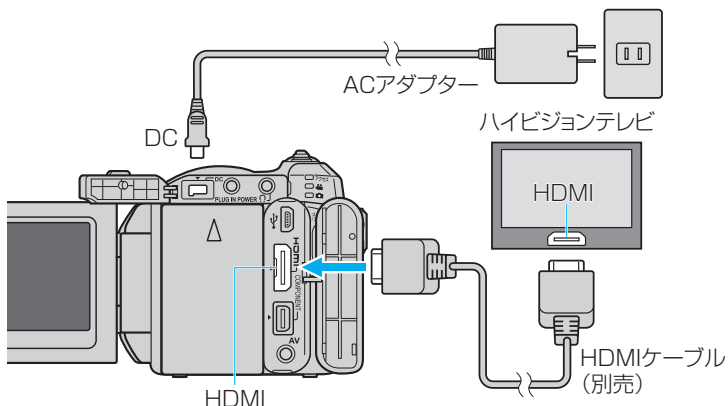
お知らせ

●GZ-HD6の場合、「HDMI出力」を「オート1」に設定し(P.104)、1080p対応テレビにHDMIケーブルで接続すると、最良の画質になる1080p信号を出力します。画面の上端に「1080p」と表示されます。

デジタル方式でハイビジョンテレビに接続する
HDMI端子

アナログ方式でハイビジョンテレビに接続する
D端子

(従来型テレビで見るとき)
P.50へ

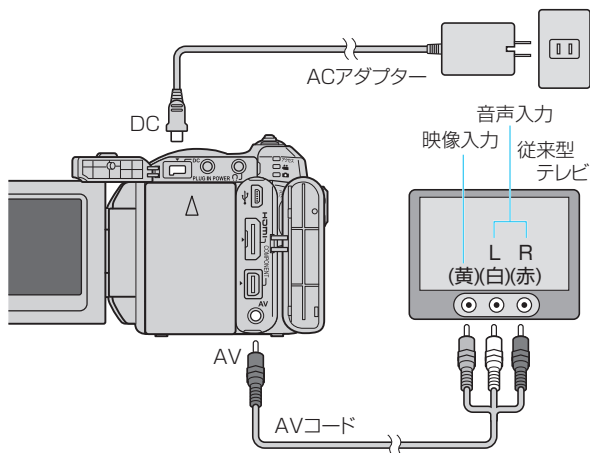
ハイビジョンテレビに接続すると、ハイビジョン画質で再生できます。
従来型のテレビに接続すると、標準画質で再生できます。

■D端子の種類をテレビに合わせる
➡「コンポーネント出力」（P.104）

撮影 再生 9

テレビで見る II

従来型テレビに接続する

AV端子

（以下は、P.48の手順①～②の操作です）

■テレビの画面比（4：3／16：9）に合わせる

➡「ビデオ出力」（P.104）

お知らせ ●動画メニューで「x.v.Color」を「入」にして撮影したときは、テレビ側の設定をx.v.Colorにするか、テレビの色合いを調整してください。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。

編集 1

いろいろな編集

こんなことができます		操作については…	参照
動画	プレイリストをつくる	すべての動画から選んで	(P.52)
		撮影日から探して	(P.54)
		イベントと撮影日から探して	(P.55)
	プレイリストを編集する	編集する プレイリスト名を変更する 削除する	(P.56)
	プレイリストを見る		(P.58)
動画 静止画	効果を付ける	エフェクト 場面切替	(P.60)

プレイリストとは
続けて再生したい動画を、再生したい順序に並べた一覧のことです。
なお、動画をプレイリストに登録したり、プレイリストから削除したりしても、元の動画ファイルはそのまま残ります。

■プレイリストの主な使いかた
- ●動画を好みの順序に並べて、ストーリーのある映像をつくる。
- ●特定のイベントを登録した動画を、1つにまとめて見つけやすくする。
- ●特定の日に撮影した動画を、1つにまとめて見つけやすくする。
- ●複数の動画を、DVDライター（別売）でDVDにまとめて保存する。
- ●ビデオ機器にハイビジョン画質でダビングする。
- ●複数の動画を、標準画質でまとめてダビングする。

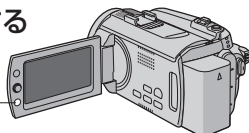
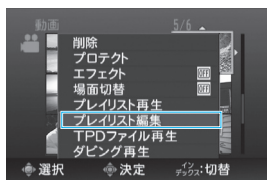
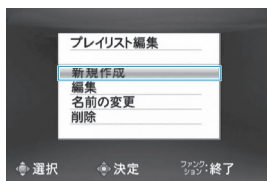
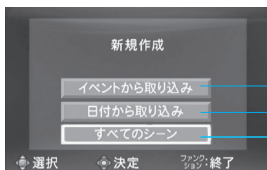
■ビデオ機器にハイビジョン画質でダビングするとき
➡① 画質「1440 CBR」の動画でプレイリストをつくる
（動画の見分けかた➡(P.53)）
② 「ハイビジョン画質でダビングする」(P.72)

お知らせ ●動画ファイルを削除すると、プレイリストから同じ動画が削除されます。

編 集 2 プレイリストをつくる Ⅰ

準 備 ●電源/モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

ファンクション

2 「プレイリスト編集」を選び、決定する

3 「新規作成」を選び、決定する

4 作成方法を選び、決定する

すべての動画から選んで

すべてのシーン

■終了するとき ➡「ファンクション」ボタン押す

■プレイリストを修正／削除するとき ➡(P.56)

■プレイリストを再生するとき ➡(P.58)

撮影した動画をお好みの順でつなげるなどして、
オリジナル映像（プレイリスト）をつくることができます。

撮影したすべての動画からお好みの動画を選び、プレイリストをつくります。

①撮影した動画を選び、決定する

撮影した動画　プレイリスト

1440 CBR がある動画は、ハイビジョンのまま i.LINK 端子からダビングできます。

●選んだ動画の内容を確認する
➡「インデックス」ボタン押す
●プレイリスト画面に戻す
➡動画を停止し、「インデックス」ボタンを押す

②挿入位置を選び、決定する
（右欄に動画があると、挿入位置を選べる）

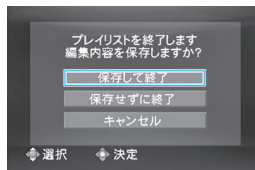
（選んだ動画がプレイリストに追加される）

●プレイリストに追加した動画を消す
➡右欄で消したい動画を選び、「決定」ボタン押す

③手順①～②を繰り返し、好みの順に動画を並べる

④確定する

ファンクション

⑤「保存して終了」を選び、決定する

（インデックス画面に戻る）

●作成した日時が、プレイリストの名前になります。

編　集 3

プレイリストをつくる Ⅱ

撮影日から探して

日付から
取り込み

撮影日を選び、その日に撮影した動画を
まとめて選んで並べます。

（P.52の手順④で「日付から取り込み」を選んだ後）

①撮影日を選び、決定する

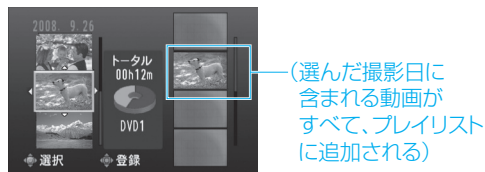
プレイリスト

撮影日　その日の最初に撮影した動画

●選んだ撮影日に含まれる動画を確認する
　➡「インデックス」ボタン押す
●動画の内容を確認する
　➡「⬆⬇」で動画を選び、決定する

②挿入位置を選び、決定する

（右欄に撮影日があると、挿入位置を選べる）

（選んだ撮影日に
含まれる動画が
すべて、プレイリスト
に追加される）

●プレイリストに追加した動画を消す
　➡右欄で消したい動画を選び、「決定」ボタン押す

③手順①～②を繰り返し、撮影日を並べる

④確定する

（「ファンクション」ボタン押す）

⑤「保存して終了」を選び、決定する

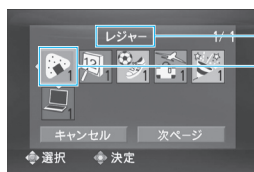
撮影した動画をイベントや撮影日から探してお好みの順でつなげて、
まとまったオリジナル映像(プレイリスト)がつくれます。

イベントと撮影日から探して

イベントから取り込み

登録したイベント(P.40)と撮影日を選び、
その日に撮影した動画をまとめて選んで並べます。

(P.52の手順④で「イベントから取り込み」を選んだ後)

①イベントを選び、決定する

イベント名

イベント

選んだイベントが登録されている撮影日

- 選んだ動画の内容を確認する
  ➡「インデックス」ボタン押す
- プレイリスト画面に戻す
  ➡動画を停止し、「インデックス」ボタンを押す

②撮影日を選び、決定する(P.54 手順①)

③挿入位置を選び、決定する
(右欄に撮影日があると、挿入位置を選べる)

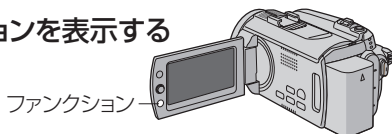
④手順②～③を繰り返し、撮影日を並べる

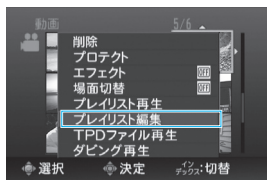
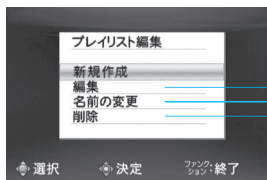
⑤確定する
(「ファンクション」ボタン押す)

⑥「保存して終了」を選び、決定する

編　集 4

プレイリストを編集する

準 備 ●電源/モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「プレイリスト編集」を選び、決定する

3 編集項目を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■プレイリストを再生するとき
➡「プレイリストを見る」(P.58)

プレイリストを編集する
編　集

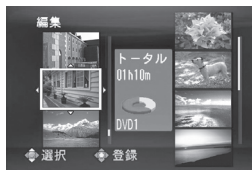
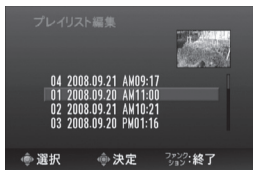
プレイリスト名を変更する
名前の変更

プレイリストを削除する
削　除

作成したプレイリストの名前を変えたり、中のシーンを削除したり、プレイリストを削除したりできます。

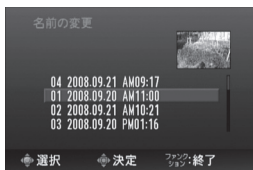
一度作成したプレイリスト内の動画を、削除したり並べ替えたりできます。

①プレイリストを選び、決定する

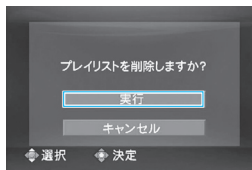
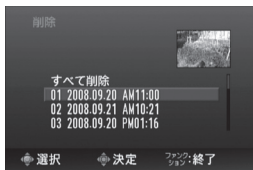
②(P.53の手順①～⑤にしたがい)プレイリストをつくり直す

●プレイリスト内の動画を削除するとき➡右欄で消したい動画を選び、「決定」ボタン押す

プレイリストの名前を、20文字以内で変更できます。

①プレイリストを選び、決定する

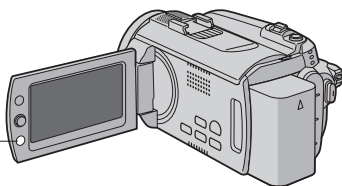
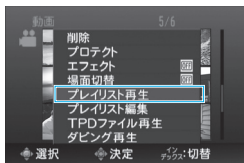
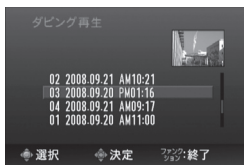
②名前をつける

プレイリストを削除します。(元の動画は消えません)

①プレイリストを選び、決定する

②「実行」を選び、決定する

●すべてのプレイリストを削除するとき➡「すべて削除」を選ぶ

編 集 5 プレイリストを見る

準 備 ●電源／モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「プレイリスト再生」を選び、決定する

3 プレイリストを選び、決定する

■プレイリストに含まれる動画を確認するとき
➡「インデックス」ボタン押す

■再生時の操作 ➡P.36

■通常の再生に戻るとき
➡手順②で「通常ファイル再生」を選び、決定する

■プレイリストをつくるとき
➡「プレイリストをつくる」（P.52）

撮影時間／枚数の目安

■動画の撮影可能時間の目安

画質	HDD GZ-HD6	HDD GZ-HD5	microSDカード 4GB
FHD	10時間	5時間	−
SP	14時間	7時間	25分
LP	24時間	12時間	−
1440 CBR	10時間	5時間	−

■静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

画面	画像サイズ	画質モード	microSDカード 512MB	1GB	2GB	4GB
16:9	1920×1080	ファイン	535	1065	2115	4220
		スタンダード	840	1670	3225	6445
4:3	1440×1080	ファイン	705	1405	2785	5565
		スタンダード	1110	2205	4380	8750
	1024×768	ファイン	1415	2810	5575	9999
		スタンダード	2225	4115	8765	9999
	640×480	ファイン	3465	6870	9999	9999
		スタンダード	6235	9999	9999	9999

※HDDには（画像サイズや画質などに関わらず）9999枚まで撮影できます。

■撮影時間の目安（バッテリー使用時）

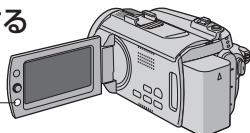
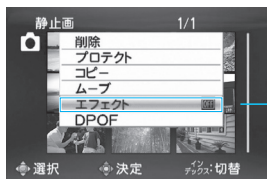
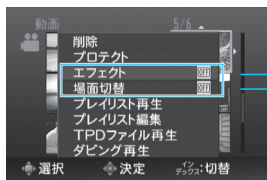
バッテリー	GZ-HD6 実撮影時間	GZ-HD6 連続撮影時間	GZ-HD5 実撮影時間	GZ-HD5 連続撮影時間
BN-VF808	20分	35分	20分	40分
BN-VF815	40分	1時間20分	45分	1時間25分
BN-VF823	1時間	2時間	1時間5分	2時間5分
VU-V840KIT	1時間55分	3時間45分	1時間55分	3時間50分
VU-V856KIT	2時間45分	5時間25分	2時間45分	5時間30分

※モニターバックライト「標準」のときの値です。
※実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。
（撮影予定時間の約3倍分を用意することをおすすめします）
※充分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。
（新しいものに交換してください）

編 集 6

映像に効果をつける

準 備 ●電源/モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「再生」

1 ファンクションを表示する

2 「エフェクト」または「場面切替」を選び、決定する

（📷モードのとき）

（🎥モードのとき）

🎥 📷
映像に効果をつける
エフェクト

映像のつなぎ目に効果をつける
場面切替

■終了する／中止するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

お知らせ

●「エフェクト」は撮影前に設定しておくこともできます。（P.94）
●約７秒以下の短いシーンには、効果が付きません。

撮影した映像やシーンのつなぎ目に、いろいろな効果をつけて、再生できます。

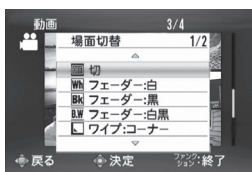
再生する動画や静止画全体に効果をつけます。

①効果を選び、決定する

●映像に効果がつく。
- セピア ：セピア色に
- B/W 白黒 ：白黒の色に
- 映画効果（動画のみ） ：早いコマ落とし
- ストロボ（動画のみ） ：コマ落とし

②再生する

再生する動画と動画のつなぎ目に効果をつけます。

①効果を選び、決定する

●動画の最初と最後に効果が入る。

・フェーダー：フェードイン→フェードアウト
- Wh 白（白↔カラー）
- Bk 黒（黒↔カラー）
- B.W 白黒（モノトーン↔カラー）

例）フェーダー：白

・ワイプ：ワイプイン→ワイプアウト
- コーナー（右上↔左下）
- ウィンドウ（中心↔周辺）
- スライド（右↔左）
- ドア（中心↔左右）
- スクロール（下↔上）
- シャッター（中心↔上下）

例）ワイプ：コーナー

②再生する

保　存 1

いろいろな保存

動画・静止画

これを使って…

DVDライターで

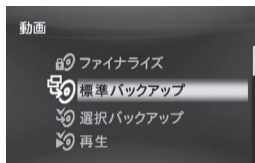
(P.64)

こんなことができます

ハイビジョンのまま
DVDに保存する

お知らせ

●DVDプレーヤー、ブルーレイディスクプレーヤー、HD DVDプレーヤーなどでは再生できません。

DVDライターを接続すると、メニューが表示されます

●ファイナライズ

記録や追記を終え、DVDを完成させる

●標準バックアップ

すべてを保存できる(P.65)
新しく撮ったものだけを保存できる(P.65)

●選択バックアップ

撮影日を選んで保存できる(P.66)
ファイルを選んで保存できる(P.66)
選んだイベントだけを保存できる(P.68)
選んだプレイリストを保存できる(P.69)

●再生

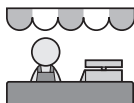
作成したDVDを再生できる(P.70)

お知らせ

●つくったDVDをパソコンやDVDライター(CU-VD40)の再生機能で見るには、あらかじめ本機でファイナライズしてください。

●DVDに追記するときは、追記する前に「再生」で内容を確認してください。

動画をビデオ機器にダビングしたり、静止画をお店でプリントしたりできます。
DVDライター（別売）を使うと、撮った動画や静止画をDVDに保存できます。

これを使って…	こんなことができます

お店でプリント（印刷）する(P.78)

大画面テレビやカーナビで見る

SDカードスロット付テレビ

お知らせ

- 動画から撮った静止画（P.36）は、画像サイズが「1920×1080」、画面比が「16：9」になります。
- お店でプリントする場合や使用する機器によってはアダプターが必要になります。機器の取扱説明書やお店でご確認ください。

DVD保存 1

DVDライターを準備する

準備 ●電源/モードスイッチ:「切」
●DVDライター(別売)の説明書もご覧ください

*1〜3の順に接続します。

ACアダプター

DC

1

ACアダプター

3

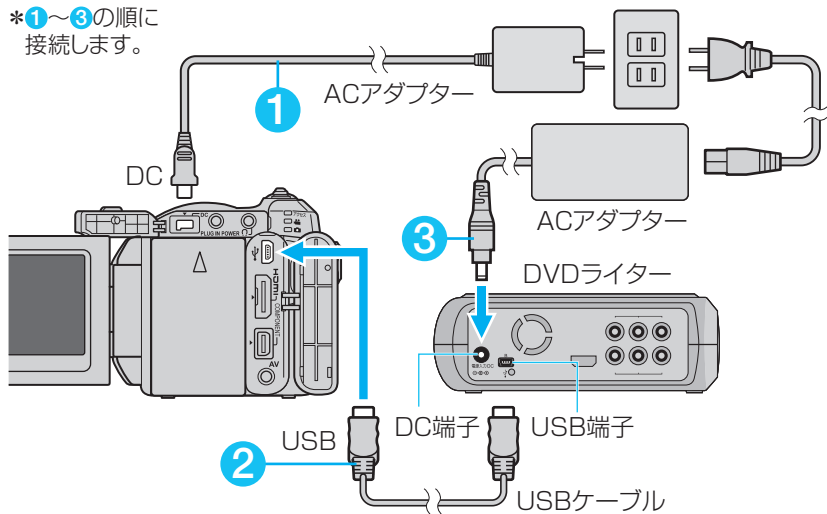
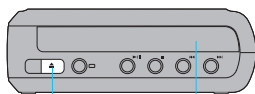
DVDライター

DC端子

USB端子

USB

2

USBケーブル

4 新しいDVDをセットする

①DVDライターの電源を入れる

②取り出しボタンを押す

●トレーが開く

③DVDを入れ、取り出しボタンを押す

●トレーが閉まる

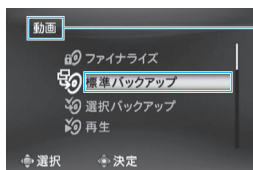
記録できるDVDディスク	•DVD-R(未使用のもの) •DVD-RW •DVD-R DL(DVDライターCU-VD40のみ)
記録できないDVDディスク	•8cmサイズ •特殊な形状のもの •キズのあるもの

お知らせ ●1枚のDVDに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。

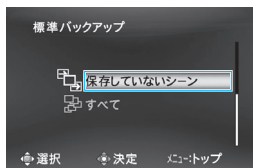
DVD保存 2 まとめてDVDに保存する

本機のすべてのファイル（動画や静止画）や、一度もDVDに保存していないファイルを、DVDにまとめて保存できます。

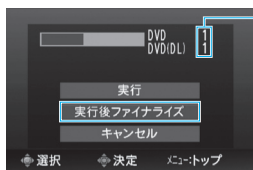
準備 ①DVDライターを準備する（P.64）
②約20秒待つ
③電源／モードスイッチ：またはモード

1 「標準バックアップ」を選び、決定する

モード（動画／静止画）を確認する

（動画をバックアップするときは、「動画」に設定する）

2 「すべて」を選び、決定する

●未保存のファイルを保存するとき
➡「保存していない…」を選ぶ

（画面は動画モードのとき）

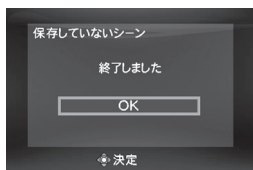
3 「実行後ファイナライズ」を選び、決定する

必要なディスクの枚数

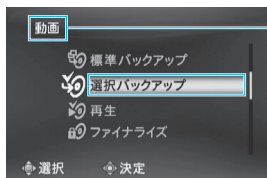
●中止するとき
➡「キャンセル」を選び、決定する
●DVDに追記する予定があるとき
➡「実行」を選ぶ

4 終了する

●「ディスクを入れ替えてください」と表示されたとき
➡未使用のDVDを入れる

DVD保存 3

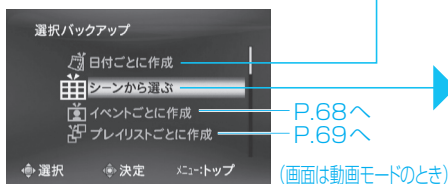
選んでDVDに保存する I

準備 ①DVDライターを準備する(P.64)
②約20秒待つ
③電源/モードスイッチ：🎥または📷モード

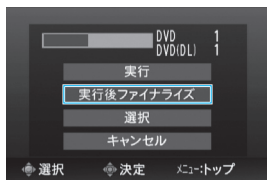
1 「選択バックアップ」を選び、決定する

モード(動画/静止画)を確認する

2 コピーするファイルを選ぶ

P.68へ
P.69へ

(画面は動画モードのとき)

3 「実行後ファイナライズ」を選び、決定する

● 中止するとき
➡「キャンセル」を選び、決定する

● 「ディスクを入れ替えてください」と表示されたとき
➡未使用のDVDを入れる

4 終了する

🎥📷 **選んだ撮影日だけを**

日付ごとに作成

🎥📷 **選んだファイルだけを**

シーンから選ぶ

画像から選ぶ

DVDライター(別売)と接続すると、撮影日でまとめて選んだファイル(動画や静止画)や、お好みで選んだファイルを、DVDに保存できます。

選んだ日付に撮影したすべてのファイルをDVDに保存します。

①撮影日を選び、決定する

②決定する

1つ、または複数のファイルを選び、DVDに保存します。

①ファイルを選び、決定する

(選んだ映像に ✔ がつく)

②手順①を繰り返し、ファイルを選ぶ

③確定する

お知らせ ●P.66の手順③で「選択」を選ぶと、保存するファイルを変更できます。

■DVDに追記する予定があるとき ➡ P.66の手順③で「実行」を選ぶ

お知らせ ●「終了しました」と表示される前に、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずさないでください。

DVD 保存 4

選んでDVDに保存する Ⅱ

選んだイベントの動画だけを

イベントごとに作成

イベントを選び、そのイベントを登録しているすべての動画を、DVDに保存する。

(P.66の手順②で「イベントごとに作成」を選び)

①イベントを選び、決定する

イベント名
イベント

②決定する

●選んだイベントに含まれるシーンの一覧を見る
➡「インデックス」ボタン押す

③「実行後ファイナライズ」を選び、決定する
(P.66 手順③へ)

■DVDに追記する予定があるとき
➡P.68の手順③(またはP.69の手順⑥)で「実行」を選ぶ

お知らせ

●「終了しました」と表示される前に、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずさないでください。

●「プレイリストごとに作成」(P.69)では、ファイル情報の画面(P.19)の「作成日時」がDVDに保存した日時になります。

DVDライター(別売)と接続すると、「旅行」などのイベント(P.40)やプレイリスト(P.51)を、DVDに保存できます。

選んだプレイリストを

プレイリストごとに作成

作成したプレイリストを選び、プレイリスト通りの動画をDVDに保存する。

(P.66の手順②で「プレイリストごとに作成」を選び)

①プレイリストを選び、決定する

作成したプレイリスト　保存するプレイリスト

- 選んだプレイリストの内容を確認する
  ➡「インデックス」ボタン押す
- プレイリスト画面に戻す
  ➡動画を停止し、「インデックス」ボタンを押す

②挿入位置を選び、決定する
(右欄にプレイリストがあると、挿入位置を選べる)

(選んだプレイリストが、追加される)

③手順①〜②を繰り返し、プレイリストを並べる

④確定する

⑤「すべて」を選び、決定する

⑥「実行後ファイナライズ」を選び、決定する
(P.66 手順③へ)

DVD保存 5

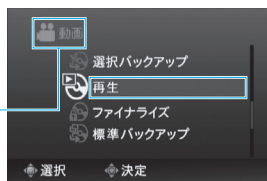
バックアップDVDを見る

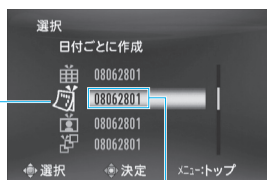
本機とDVDライターで見る

準備 ①DVDライターを準備する(P.64)の手順①～③
②DVDライターの電源を入れ、約20秒待つ
③電源/モードスイッチ：🎥または📷モード

1 本機で作ったDVDをセットする

2 「再生」を選び、決定する

モード(動画／静止画)を確認する

3 フォルダを選び、決定する

バックアップ方法を示すアイコン

バックアップした年月日と数字(01～99)

4 ファイルを選び、再生する

お知らせ ●再生できるディスクは、本機でつくったDVDに限ります。

本機でつくったDVD（バックアップDVD）の
ファイル（動画や静止画）を再生できます。

DVDライター（CU-VD40）だけで見る

DVDライター（CU-VD40）をテレビに接続すると、本機を接続しなくても、本機でつくったDVDを再生できます。
詳しくは、DVDライターの取扱説明書をご覧ください。

■再生できないとき

➡DVDをファイナライズしていないかもしれません。
DVD作成の画面で「ファイナライズ」を選び、決定してください（P.62）。

パソコンで見る（Windows）

付属ソフトウェアのPowerCinemaで再生できます。さらに、付属ソフトウェアのPowerDirectorで編集できます。

■「マイコンピュータ」にDVDが表示されないとき

➡DVDをファイナライズしていないかもしれません。
DVD作成の画面で「ファイナライズ」を選び、決定してください（P.62）。

お知らせ
- DVDプレーヤー、ブルーレイディスクプレーヤー、HD DVDプレーヤーなどでは再生できません。

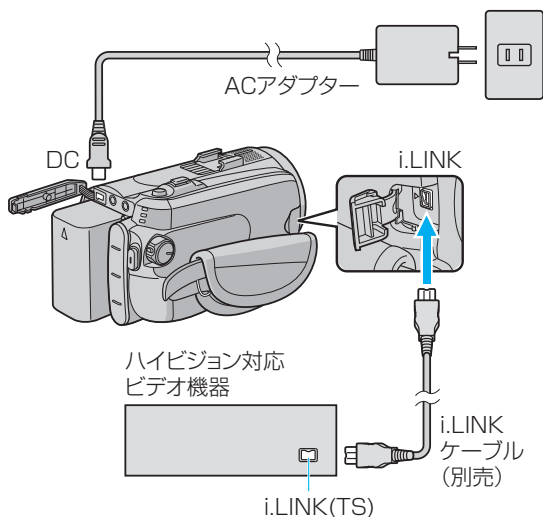
ビデオ保存 1

ハイビジョン画質でダビングする

準備 ●電源／モードスイッチ：「切」
●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください

HDV機器に接続する

HDV機器

HDV対応ソフトウェア

■i.LINK出力を「1440 CBR」に合わせる
➡「i.LINK出力」（P.104）

■画質「1440 CBR」の動画でプレイリストをつくる
➡「プレイリストをつくる」（P.52）
➡画質「1440 CBR」の動画の見分けかた（P.53）

お知らせ
●ビデオ機器で再生した映像は、本機のi.LINK端子やAV端子に入力できません。
●画質が「FHD」「SP」「LP」の動画を、ハイビジョン画質のまま残すには、DVDライター（P.62）かパソコンをお使いください。

HDV機器などに、画質「1440 CBR」で撮影した動画をダビングできます。
あらかじめプレイリストを作成してください(P.52)。

再生側(本機)	録画側(HDV機器)

1 録画の準備をする

・対応する入力信号に切り換える。

2 ファンクションを表示する

3 「ダビング再生」を選び、決定する

4 プレイリストを選び、決定する

・画質「1440 CBR」の動画のみで作成したプレイリストを選ぶ。

5 決定する

6 「続行」を選び、決定する

7 「再生開始」を選び、決定する

・「i.LINK出力中」と表示される。

8 録画を開始する

(ダビング中)

9 録画を停止する

お知らせ

- ダビングした映像をHDV機器で再生すると、シーンのつなぎ目で映像や音声が止まることがあります。
- ダビングの前に手順⑦までを行い、HDV機器に本機の映像を入力できることを確認してください。
- 手順⑧〜⑨のあいだ、本機には再生中の映像が表示されません。HDV機器側で確認します。
- 日時情報、場面切替、再生時のエフェクト(P.60)はダビングされません。

ビデオ保存 2

標準画質でダビングする

準備 ●電源/モードスイッチ：「切」
●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください

デジタルで接続する

DVDレコーダー

DVカメラ

DV対応ソフトウェア

■接続方法

➡「ハイビジョン画質でダビングする」(P.72)
DVDレコーダーやDVDカメラなどの「DV入力」端子に接続する。

■i.LINK出力を「DV」に合わせる

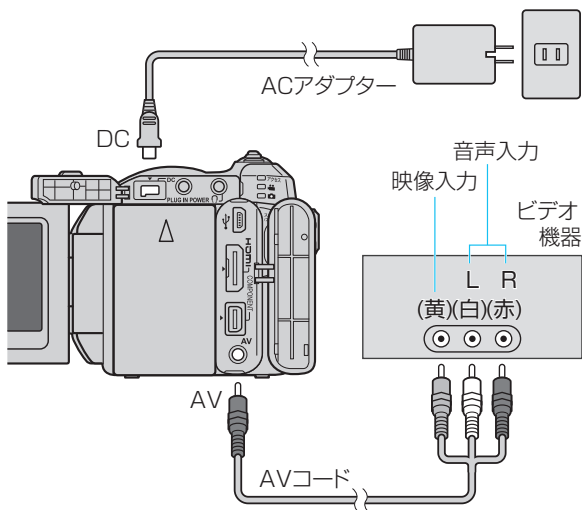
➡「i.LINK出力」(P.104)

■プレイリストをつくる

➡「プレイリストをつくる」(P.52)

アナログで接続する

AV端子

ビデオデッキ

■ビデオ機器に接続するテレビの画面比(4：3／16：9)に合わせる ➡「ビデオ出力」(P.104)

■日付などの表示を消すとき ➡「テレビ表示」(P.103)

DVDレコーダーやDVカメラなどに、標準画質に変換しながらダビングできます。あらかじめプレイリストを作成してください(P.52)。

プレイリストをダビングする

再生側(本機) / **録画側(ビデオ機器)**

1 録画の準備をする
・対応する入力信号に切り換える。

2 ファンクションを表示する

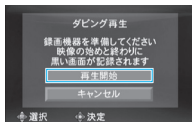
ファンクション

3 「ダビング再生」を選び、決定する

4 プレイリストを選び、決定する

お知らせ

●ダビングの前に手順⑤までを行い、ビデオ機器に本機の映像を入力できることを確認してください。

5 「再生開始」を選び、決定する

・デジタル：「i.LINK出力中」と表示
・アナログ：黒画面→再生画面→黒画面

6 黒画面が表示されているうちに録画を開始する

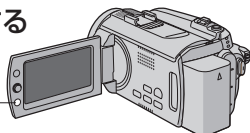
(ダビング中)

7 黒画面が表示されているうちに録画を停止する
・映像の最初と最後に約5秒間の黒画面が入る。

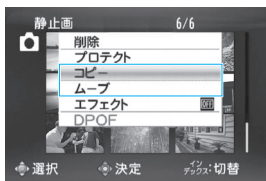
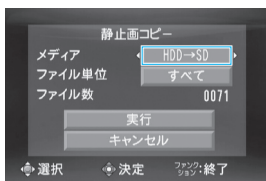
■動画ファイルをダビングするとき(アナログ接続のみ)
➡手順②で動画を再生し(P.36)、ビデオ機器で録画を開始する

お知らせ

●デジタルダビングでは、手順⑥〜⑦のあいだ、本機には再生中の映像が表示されません。ビデオ機器側で確認します。

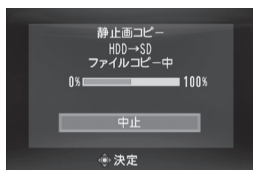
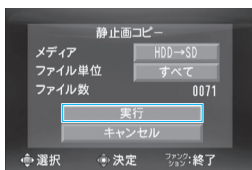
●デジタルダビングでは、日時情報、場面切替、再生時のエフェクト(P.60)はダビングされません。

コピー
ムーブ 1

HDD ↔ microSDカードに移す

準備 ●電源/モードスイッチ：📷モード
●切換ボタン：「再生」

■終了するとき ➡「ファンクション」ボタン押す

撮影した静止画をHDDとmicroSDカード間でコピーしたり、
ムーブ（複製せずに移動）させたりできます。
静止画をお店でプリント（現像）するときなどに便利です。

全ての静止画をコピーまたはムーブ（移動）します。

①「実行」を選び、決定する

選んだ静止画だけをコピーまたはムーブ（移動）します。

①「ファイル」を選んだまま、決定する

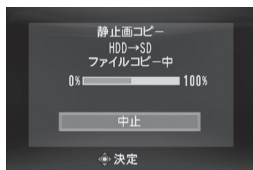
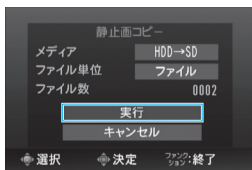
②コピーまたはムーブ（移動）したい静止画を選び、決定する

（選んだ静止画に ✔ がつく）

③手順②を繰り返し、
静止画を選ぶ

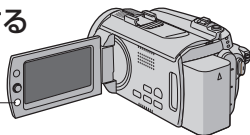
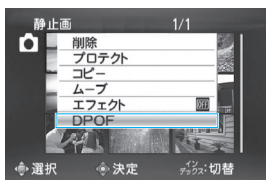
④確定する

ファンクション

⑤「実行」を選び、決定する

お知らせ ●プロテクトした静止画をムーブすると、ムーブではなくコピーされます。

準備 撮影・再生 編集・保存 パソコン メニュー 困ったとき

プリント指定する(DPOF)

準 備　●電源／モードスイッチ：📷モード
●切換ボタン：「再生」

1. ファンクションを表示する
2. 「DPOF」を選び、決定する
3. 設定方法を選び、決定する

静止画や枚数を選ぶ
画像を選択

すべての静止画を1枚ずつ
すべて１枚

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■プリント指定を確認するとき
➡手順③で「設定済みを確認」を選ぶ

■プリント指定をすべて取り消すとき
➡手順③で「リセット」を選ぶ

■「DPOF」が選べないとき
➡静止画をmicroSDカードに移す(P.76)
「静止画メディア」を「SD」にする(P.101)

撮影した静止画をお店に持ち込む場合、プリントする静止画と、プリントする枚数を、あらかじめ指定できます。

プリントする静止画を指定し、プリントする枚数を静止画ごとに設定できます。

①静止画を選び、決定する

プリントする静止画

②枚数を選び、決定する

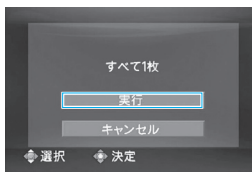
プリントする枚数（最大15枚）

③手順①～②を繰り返し、
プリント指定をする

④確定する

ファンクション

すべての静止画を、1枚ずつプリントするように設定できます。

①「実行」を選び、決定する

②終了する

お知らせ

●画面比が16:9の静止画（P.63、100）をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。

Windows 1

パソコンでこのようなことができます

■PowerCinemaで、簡単保存・再生・コピー・編集

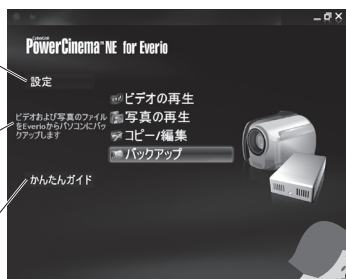
設定

各項目を細かく設定できます

機能説明

右の機能を選ぶと説明が表示されます

かんたんガイド

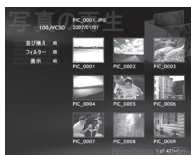
詳しい使いかたはインターネットで見られます

●新しく撮った映像をおまかせで保存できる「ダイレクトバックアップ」

エブリオの「ダイレクトバックアップ」ボタンを押すと、撮影した映像をパソコンに保存できます。

●エブリオのメディアを選んで保存できる「バックアップ」

エブリオのHDDまたはmicroSDカードを選んで、パソコンに映像を保存できます。

●パソコンに保存したビデオを見られる「ビデオの再生」

●パソコンに保存した写真を見られる「写真の再生」

画面をクリックするだけで、見たい映像を見られます。

動画や静止画を撮影した後は、パソコンに保存して、
付属のソフトで再生・編集・ディスク作成を楽しむことができます。

■PowerDirectorで編集!

■PowerProducerでディスク作成!

■フォト・ナビゲーターで静止画を活用!

●ディスクの作成/編集などができる「コピー/編集」

コピー　　　：必要な映像を選んでコピーできます。
編集　　　　：必要な映像を選び、PowerDirectorで編集できます。
削除　　　　：不要な映像を選び、削除できます。（エブリオ本体のファイルは削除できません）
ディスク作成：必要な映像を選び、PowerProducerでディスクを作成できます。ブルーレイディスクも作成できます。

●パソコンで編集した映像をエブリオで再生!

PowerDirectorで編集した映像をTPDファイルに変換すると、エブリオで再生できます。

お知らせ

- 付属のソフトの操作などで困ったときは、P.117のお問い合わせ先へご相談ください。
- パソコンで編集した映像のディスク作成のしかたなどについては、以下のアドレスでご覧になれます。
http://www2.cli.co.jp/products/ne/
- 付属ソフトを使用するときは、動画メニューで「x.v.Color」を「切」にして撮影してください。

Windows 2 パソコンにインストールする

動作環境を確認する

■次の条件を満たすパソコンに、ファイルを保存できます。

OS：次のいずれか（プリインストール版）
・Windows XP Home Edition/Professional（SP2）
・Windows Vista Home Basic/Home Premium（32ビット版）

端子：標準装備のUSB 2.0端子

■さらに次の条件を満たすパソコンで、付属ソフトを使えます

CPU：Intel Pentium 4 3.2GHz以上（Intel Core Duo 1.66GHz以上推奨）
Intel Pentium M 1.8GHz以上

RAM：Windows XPでは、512MB以上（1GB以上推奨）
Windows Vistaでは、1GB以上（2GB以上推奨）

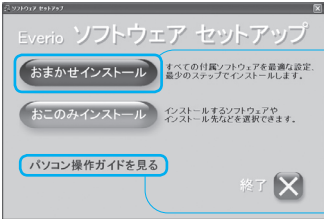
HDD空き容量：インストール時に750MB
ブルーレイディスク作成時に30GB（60GB以上推奨）

ディスプレイ：1024×768ピクセル以上を表示可能なこと（1280×1024以上推奨）

ビデオカード：MPEG-2 HD DxVAに対応すること（Intel/nVidia/ATI 製）

サウンドカード：Direct Soundに対応すること

記録型DVD/ブルーレイドライブ：CyberLink社が対応するドライブ（P.117）

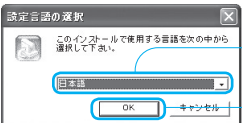
お知らせ

- 「おまかせインストール」を押した場合、フォトナビゲーターとPowerCinemaのみ、デスクトップにアイコンができます。
- 推奨環境を満たしていても、ハイビジョン映像の再生時にコマ落ちしたり、編集に時間がかかることがあります。さらに快適にお使いいただくためには、より高性能なパソコン（CPU：Intel Core 2 Duo, メモリー：2GB以上）の使用をお勧めします。

対応するパソコンの条件を確認し、動画の再生・編集・ディスク作成や、静止画のアルバム作成ができる付属ソフト(P.80)をインストールします。

付属ソフトをインストールする

準 備 ●付属のCD-ROMをパソコンに入れる(セットアップ画面が表示)

1

(ソフトウェアセットアップ画面で)
「おまかせインストール」を押す
●「おこのみインストール」を選ぶと必要なソフトを選択して、インストールが可能です。
●「パソコン操作ガイド」を見ることができます。

2

(フォト・ナビゲーターの使用許諾契約)
内容を確認し、「はい」を押す
●フォト・ナビゲーターのインストールが始まる。

3

(設定言語の選択画面で)
言語を確認し、
「OK」を押す

4

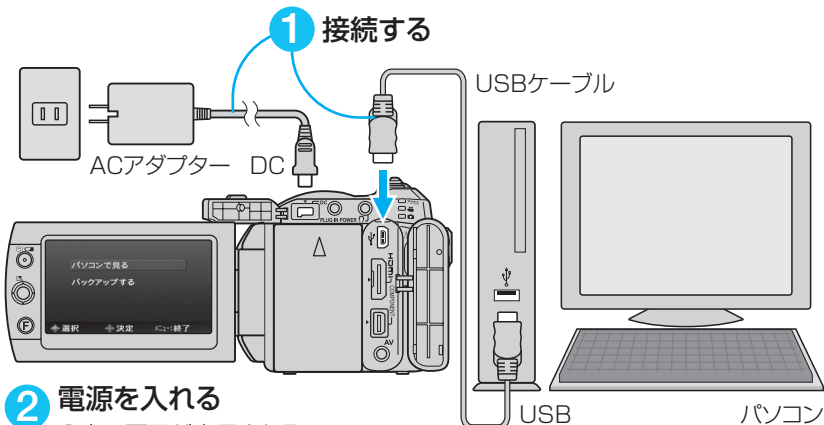
(Cyber Link BD Solution使用許諾契約の)
内容を確認し、「はい」を押す
●CyberLink BD Solutionのインストールが始まる。
➡PowerDirector(編集ソフト)、
➡PowerCinema(ファイル管理・再生ソフト)、
➡PowerProducer(ディスク作成ソフト)のインストールが完了すると、次の画面を表示。

5

インストールが完了し、デスクトップにアイコンが作成される。
(①の画面で「X」を押すと終了する)
「完了」を押す

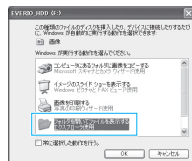
Windows 3 パソコンと接続する

準備 ●電源/モードスイッチ：「切」
●付属のCD-ROMからパソコンにソフトをインストールしておく(P.82)

1 接続する

2 電源を入れる
●上の画面が表示される

お知らせ ●あらかじめエブリオで不要なファイルを削除しておくと、パソコンに保存する容量が少なくなり、パソコンのHDDの空き容量を節約できます。

■付属ソフトを使わずにファイルをパソコンに保存するとき

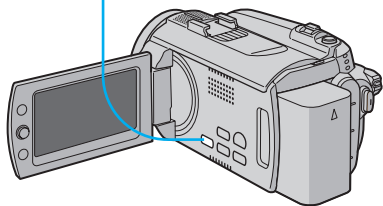
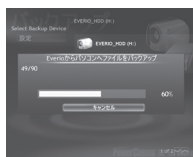
①本機で「パソコンで見る」を選び、決定する。
②パソコンに表示された画面「EVERIO_HDD」または「EVERIO_SD」で 「フォルダを開いてファイルを表示する」を選び、「OK」を選ぶ。
③「SD_VIDEO」(動画フォルダ)や「DCIM」(静止画フォルダ)をコピーする(P.91)。

本機を取りはずすには、P.85の手順3の①〜③を行います。

Windows 4 新しいファイルを保存する

パソコンに一度も保存していないファイル(動画と静止画)を、パソコンにまとめて保存できます。(ダイレクトバックアップ)

準 備 ①パソコンに付属ソフトをインストールしておく(P.82)
②本機をパソコンに接続し、本機の電源を入れる(P.84)

バックアップ元(本機)	バックアップ先(Windows)

1 ダイレクトバックアップ 押す

(パソコンにバックアップ開始)

●ソフトが自動的に起動し、バックアップが始まる

2 ソフトを終了する

3 本機をはずし、終了する

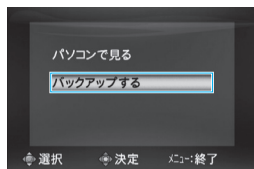
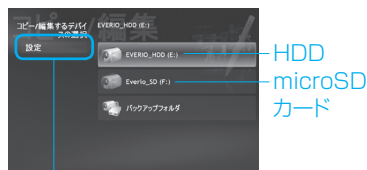
押す
①「ハードウェアの安全な取り外し」または「取り出し」から「USB大容量記憶装置デバイスードライブを安全に停止します」を選ぶ。
②「OK」を選ぶ。
③USBケーブルを抜く。

Windows 5 メディアを選んでファイルを保存する

本機のHDDとmicroSDカードの一方を選び、そのなかにあるファイル（動画と静止画）をパソコンに保存できます。
パソコンに一度も保存したことがないファイルだけが、自動的に選ばれて保存されます。

準備 ①パソコンに付属ソフトをインストールしておく（P.82）
②本機をパソコンに接続し、本機の電源を入れる（P.84）

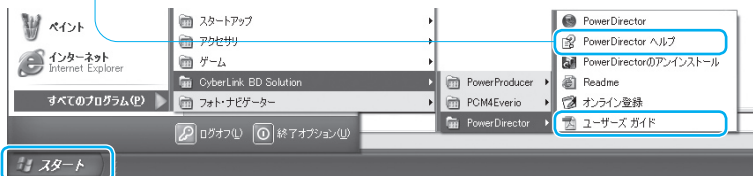
バックアップ元（本機）	バックアップ先（Windows）

1 「バックアップする」を選び、決定する

2 バックアップしたいメディアを選ぶ

●保存先を調べる、変更するとき
→「設定」→「バックアップフォルダ」

お知らせ ●パソコンのPowerCinema NE for Everioの画面で「バックアップ」を選ぶこともできます。その場合は、あらかじめ本機の画面で「パソコンで見る」を選んでください。

付属ソフトを使う

スタートメニューから立ち上げる

●使いかたについては、各ソフトの取扱説明/ユーザーガイド/ヘルプ/Readmeをご覧ください。(PowerCinemaを除く)

「スタート」→「すべてのプログラム」
　└→「フォト・ナビゲーター」→フォト・ナビゲーター
　└→「CyberLink BD Solution」
　　　└→「PCM4Everio」→PowerCinema NE for Everio
　　　└→「PowerDirector」→PowerDirector
　　　└→「PowerProducer」→PowerProducer

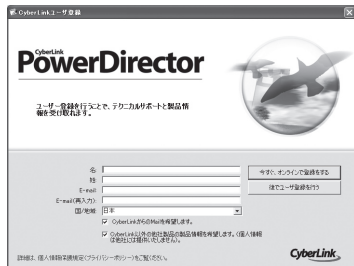
■付属ソフトの操作ガイドを見るとき

➡インストール時の画面で「パソコン操作ガイドを見る」をクリックする(P.83)

ユーザー登録をする

「スタート」→「すべてのプログラム」
　└→「CyberLink BD Solution」
　　　└→「Power Director」
　　　　　└→「オンライン登録」

Macintosh 1

このようなことができます (Mac)

動作環境を確認する

■次の条件を満たすMacintoshで、ご利用になれます

CPU : PowerPC G4/G5 1.25GHz以上
　　　Intelプロセッサ (Intel Core Duo 1.66GHz以上推奨)

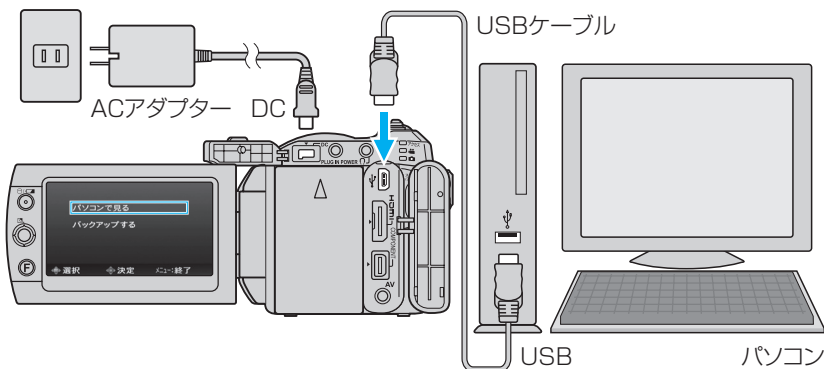
端子 : 標準装備のUSB 2.0端子

OS : Mac OS X 10.4.4～10.4.11、10.5.1

メモリー : 512MB以上（1GB以上推奨）

ファイルをパソコンに保存する

準備
- ●パソコンに付属ソフトをインストールしておく（P.90）
- ●電源 :「切」

1 USBケーブルでパソコンに接続する

2 本機で「パソコンで見る」を選び、決定する

- ●デスクトップなどに、本機のHDDやmicroSDカードが表示される。
- ●パソコンの設定によっては、iPhotoなどのソフトウェアが自動的に表示される。

動画や静止画を撮影した後は、パソコンに接続するとアップル社のソフトなどで楽しむことができます。

3 動画や静止画を読み込む

●動画を読み込むとき
➡「SD-VIDEO」フォルダをコピーする(P.91)

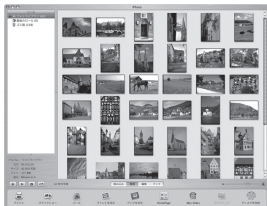
●静止画を読み込むとき
➡iPhotoを使う
➡または「DCIM」フォルダをコピーする(P.91)

4 デスクトップにある本機のHDDやmicroSDカードのアイコンを、ゴミ箱にドラッグする

●または、Finderウインドウのサイドバーで、本機のHDDやmicroSDカードのイジェクトアイコン(⏏)をクリックする。

5 USBケーブルを抜く

■iMovie HDで動画を編集!

■iPhotoで静止画を活用!

お知らせ

●iMovie HD 6をお使いの場合に、動画ファイル(拡張子.TOD)をハイビジョンのまま編集できます。詳しくは、付属のCD-ROM内の「PCguide」フォルダ内の「Start.pdf」ファイルをご覧ください。

●iMovie '08をお使いの場合は、アップル社のホームページからiMovie HD 6を無償でダウンロードしてご利用いただけます。
http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/imovieHD6.html

●iMovieおよびiPhotoの動作環境や使いかたなどについては、アップル社のホームページでご確認ください。

Macintosh 2 インストールする (Mac)

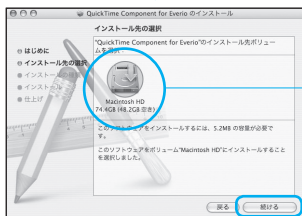
準 備 ●付属のCD-ROMをパソコンに入れる。(デスクトップに表示される)

1

(CD-ROMを開き)
ダブルクリックする

2 (「ようこそQuickTime Component for Everioインストーラへ」の画面で)
「続ける」を押す

3 (使用許諾書の)
内容を確認し、「続ける」と「同意します」を押す

4

HDDを選び、

「続ける」を押す

5

(「アップデート」または)
「インストール」を押す
● QuickTime Component for Everioのインストールが始まる。

6

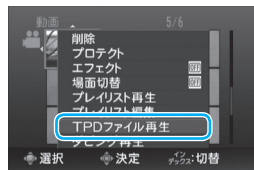
「閉じる」を押す

フォルダとファイルの一覧

HDDとmicroSDカードには、フォルダとファイルが次のように作成されます。
フォルダとファイルは、必要になったときに作成されます。

「EVERIO_HDD」(HDD)
「EVERIO_SD」(microSDカード)
- 「DCIM」
  - 「100JVCSO」(静止画フォルダ)
    - PIC_0001.JPG (静止画ファイル)
    - PIC_0002.JPG (静止画ファイル)
    - PIC_0003.JPG (静止画ファイル)
    - ⋮
  - 「101JVCSO」
  - 「102JVCSO」
  - ⋮
- 「SD_VIDEO」
  - 「MGR_INFO」←(管理情報)
  - 「PRG001」
    - PRG001.PGI ←(管理情報)
    - MOV001.TOD ←(動画ファイル)
    - MOV001.MOI ←(管理情報)
    - ⋮
  - 「PRG002」
  - 「PRG003」
  - ⋮
- 「EXTMOV」
  - DEM_0000.TPD ←(動画デモファイル)
    ※動画デモファイルが入っていない場合もあります。
  - MOV_0001.TPD ←(パソコンで作成した動画ファイル)
  - MOV_0002.TPD
  - MOV_0003.TPD
  - MOV_0001.TOD ←(管理情報が壊れた動画ファイル)
  - MOV_0002.TOD
- 「PRIVATE」(管理情報)
- 「MISC」
  - AUTPRINT.MRK ←(DPOF管理情報)

■パソコンからエブリオに書き戻した動画を見るとき（または、管理情報が壊れた動画や動画デモを見るとき）

➡ファンクションメニューの「TPDファイル再生」で見ることができます

お知らせ ●上記のフォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをパソコンで行うと、エブリオで再生できなくなります。

メニュー 1 被写体や目的に合わせる(ファンクション)Ⅰ

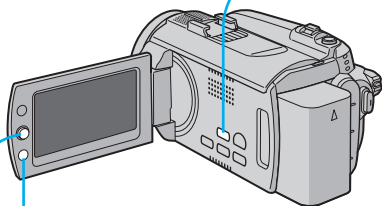
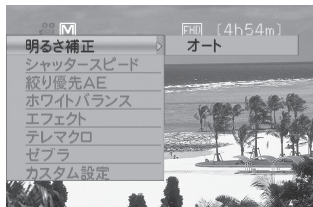
準 備 ●電源/モードスイッチ:🎥または📷モード
●切換ボタン:「撮影」

1 マニュアル撮影にする

MANUAL

2 ファンクションを表示する

ファンクション

明るさ補正
オート
シャッタースピード
絞り優先AE
ホワイトバランス
エフェクト
テレマクロ
ゼブラ
カスタム設定

3 機能を選び、決定する

4 内容を選び、決定する

■終了するとき
➡「ファンクション」ボタン押す

■一つ前の画面に戻るとき
➡「⬅」押す

お知らせ

●再生時に「ファンクション」ボタンを押すと、削除や編集などの機能が表示されます。(P.38、52など)

ファンクションでは、明るさ、シャッタースピード、絞りなどを、
被写体や目的に合わせて細かく調節できます。

ファンクション	内容
明るさ補正	(動画のとき) ●オート　：自動的に明るさが調節される －6～+6　：手動で明るさを調節する (静止画のとき) ●±0　：明るさを補正しない －2.0～+2.0：手動で明るさを調節する ・明るさを固定するときは ➡設定終了後、「決定」を2秒以上押し続ける。(Lと表示) ・明るさの固定を解除するときは ➡「決定」を2秒以上押し続ける。(Lが消える)
シャッタースピード	●オート　：自動的にシャッタースピードが調節される 1/2～1/4000 ・動きの速い被写体を鮮明に撮るときは ➡数値を小さくして、シャッタースピードを上げる (被写体が暗くなることがある) ・動きのある被写体の流れを撮るときは ➡数値を大きくして、シャッタースピードを下げる (手ブレしやすくなるので、三脚で固定する)
絞り優先 AE	●オート　：自動的に絞りが調整される F1.8～F8.0 ・背景をぼかすときは ➡数値を小さくする ・背景にもピントを合わせるときは ➡数値を大きくする(被写体が暗くなることがある)

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 2 被写体や目的に合わせる(ファンクション) II

ファンクション	内容
ホワイトバランス	● A オート ：自動的に自然な色合いになるよう調節される ワンタッチ ：手動で被写体の色をより正確に調節する ➡①白い紙を画面全体に写す ②「ワンタッチ」の点滅が止まるまで、「決定」ボタンを押し続ける。 はれ ：晴れた日の屋外で撮るとき くもり ：くもりの日や日陰で撮るとき ハロゲン ：ハロゲン撮影用ライトなどの照明の下で撮るとき
エフェクト	● OFF 切 ：効果をつけない セピア ：古い写真のようなセピア色で撮る B/W 白黒 ：白黒映像のようなモノクロで撮る 映像効果 ：速いこま落としを付けて、映画のような効果で撮る(動画のみ) ストロボ ：コマ落としで、連続写真のように撮る(動画のみ)
テレマクロ	● 切 ：望遠(T)側で約1mまで接写できる 入 ：望遠(T)側で約40cmまで接写できる
ゼブラ (動画のみ)	● 切 ：ゼブラ機能を使わない 70% ：白とびに近い(明るい)場所を、しま模様で見つける 100% ：完全に白とびした(明るすぎる)場所を、しま模様で見つける ・しま模様は、映像に記録されません。 ・白とびを減らすには ➡(P.95)

●印は、お買い上げ時の設定です

ファンクションでは、ホワイトバランス、エフェクト、シャープネスなどを、
被写体や目的に合わせて設定できます。

ファンクション		内容
カスタム設定 （動画のみ）	シャープネス	－［　　　｜　　　］＋ ：輪郭を強調する（＋）、またはぼかす（－） 「⬅➡」で調節する ●（なし） ：自然な輪郭のまま撮る
	カラーバー	● 切 ：カラーバーを表示しない 入 ：カラーバーを表示する • テレビなどに接続するときに、テレビの色調節の基準として使用できます。テレビの色調節については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

●印は、お買い上げ時の設定です

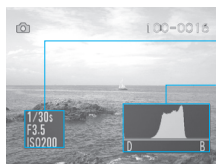
お知らせ ●シャープネスを強調すると、ざらついた映像になります。

■動画を適切な明るさで撮影するには

撮影前に、ファンクションメニューの「ゼブラ」を設定する（P.94）
➡絞り・シャッター速度・明るさを調節し、しま模様を減らして撮影する

明るすぎる（白とび）

■静止画を適切な明るさで撮影するには

再生中に「インフォ」ボタンを２度押し、ヒストグラムを表示する（P.37）
➡絞り・シャッター速度・明るさを調節し、グラフの山が途切れないようにして撮影し直す

撮影時の情報

ヒストグラム
・縦軸：画素数
・横軸：明るさ

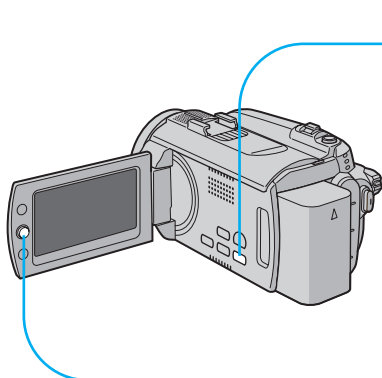
右端で途切れている：明るすぎる（白とび）

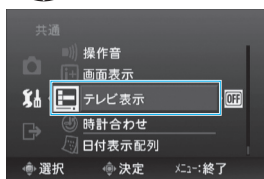
左端で途切れている：暗すぎる（黒つぶれ）

お知らせ ●動画から撮った静止画（P.36）では、撮影時の情報に数値が表示されません。

準備　撮影・再生　編集・保存　パソコン　メニュー　困ったとき

メニュー 3 設定を変える

準 備 ●電源/モードスイッチ：🎥または📷モード

1 メニューを表示する

2 左の列に移動する

3 メニューを選び、決定する

■設定を終了するとき
➡「メニュー」ボタン押す

■一つ前の画面に戻るとき
➡「⬅」押す

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき
➡「プリセット」(P.102)

4 項目を選び、決定する

お知らせ

●それぞれの項目の詳しい設定内容は各ページをご覧ください。

5 内容を選び、決定する

画質や撮影時の効果、画面表示などの設定を変えたり、
本体のHDDやmicroSDカードをフォーマットしたりできます。

メニュー一覧

〈動画メニュー〉

項目	ページ
画質	P.98
ズーム倍率	P.98
手ぶれ補正	P.98
感度アップ	P.98
ウィンドカット	P.98
動画メディア	P.99
シーンカウンター	P.99
外部マイクレベル	P.99
x.v.Color	P.99

〈静止画メニュー〉

項目	ページ
画質	P.100
画像サイズ	P.100
感度	P.100
連写	P.100
セルフタイマー	P.101
静止画メディア	P.101

〈出力設定メニュー〉

項目	ページ
ビデオ出力	P.104
コンポーネント出力	P.104
HDMI出力	P.104
HDMIカラー設定	P.104
HDMIエンハンス設定	P.104
i.LINK出力(ダビング)	P.104

〈共通メニュー〉

項目	ページ
時計合わせ	P.102
日付表示配列	P.102
日時表示	P.102
プリセット	P.102
画面明るさ	P.102
モニターバックライト	P.102
落下検出	P.103
フォーカスアシスト	P.103
リモコン	P.103
デモモード	P.103
操作音	P.103
画面表示	P.103
テレビ表示	P.103

〈メディアメニュー〉

項目	ページ
HDDクリーンアップ	P.105
HDDフォーマット	P.105
SDフォーマット	P.105
HDDデータ消去	P.105
動画番号リセット	P.105
静止画番号リセット	P.105

メニュー 4

動画メニュー

メニュー	項目	内容
動画メニュー	画質	● FHD：フルハイビジョン（1920×1080i VBR）最高画質 SP：ハイビジョン（1440×1080i VBR）高画質 LP：ハイビジョン（1440×1080i VBR）長時間 1440 CBR：ハイビジョン（1440×1080i CBR）固定ビットレート •「1440 CBR」に設定して撮影すると、市販のHDV対応ソフトウェアやHDV機器にダビングして編集できます。ただし、すべてのHDV機器との互換性を保証するものではありません。 •「動画メディア」を「SD」に設定すると、「SP」に設定されます。
	ズーム倍率	● 10倍/10x：10倍までズームできる 40倍/40x：40倍までズームできる 200倍/200x：200倍までズームできる
	手ぶれ補正	切：設定しない ● 入：手ぶれによる映像のブレを低減する • 三脚などで固定して撮影するときは ➡「切」にする。（「入」では逆に不自然な映像になる） • 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。
	感度アップ	切：調節しない ● AGC：暗いところで電気的に明るく調節する オート：暗いときは自動的に明るくする調節する（オートスロー：AGCより明るくなる）
	ウィンドカット	● 切：低減しない 入：風の音を低減する

●印は、お買い上げ時の設定です

動画メニューでは、動画撮影時の設定を変更できます。

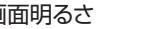
メニュー	項目	内容
動画メニュー	動画メディア	● HDD：動画を本体のHDDに記録する SD：動画をmicroSDカードに記録する •「SD」に設定すると、「画質」が一時的に「SP」に変更されます。
	シーンカウンター	OFF 切：表示しない ● ON 入：撮影開始からの経過時間を表示する
	外部マイクレベル	OFF 切：表示しない ● ON 入：外部マイクを接続すると表示する
	x.v.Color	● OFF 切：テレビ放送と同じ規格で、色を記録する ON 入：より忠実に色を記録する（x.v.Color対応テレビ用） •x.v.Color非対応のテレビで表示すると、「入」に設定して撮影した動画は色が正しく再現されないことがあります。 •パソコンで編集するときは、「切」に設定して撮影してください。

●印は、お買い上げ時の設定です

お知らせ

●「画質」の設定を変更して撮影すると、動画番号リセット（P.105）が同時に行われ、動画のフォルダが新しく作られます。「画質」の設定を頻繁に変更すると、撮影可能時間（P.59）一杯になるまえに、動画のフォルダ数の制限によって撮影できなくなることがあります。

●次のような撮影を行う場合、画質を「LP」に設定していると、モザイク状のノイズが入ることがあります。
•動きの速い被写体を撮影したとき
•本機を大きく振ったとき
•背景に複雑な絵柄があるとき

メニュー5 静止画メニュー

メニュー	項目	内容
静止画メニュー	画質	● ファイン：高画質（撮影枚数が少ない） スタンダード：標準画質（撮影枚数が多い）
	画像サイズ	● 1920×1080（画面比が16:9） 1440×1080 1024× 768 640× 480 • 画面比が16:9の静止画をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。
	感度	● オート：周囲の明るさに応じて、感度を調整する 100：ISO 100フィルム相当に設定する 200：ISO 200フィルム相当に設定する 400：ISO 400フィルム相当に設定する • 感度の数値を上げると、ノイズで粗くなります。
	連写	● 切：連写しない 入：静止画ボタンを押し続けているあいだ、連写する（最大2枚／秒） ブラケット：自動または手動で設定した明るさを中心に、少し暗い静止画（-0.3EV）と、少し明るい静止画（+0.3EV）の、3種類の静止画を連写する • シャッタースピードを設定しても（P.93）、ブラケット撮影ではシャッタースピードが固定されません。 • microSDカードによっては、連写できないことがあります。 • 連写し続けると、連写速度が低下します。

●印は、お買い上げ時の設定です

静止画メニューでは、静止画撮影時の設定を変更できます。

メニュー	項目	内容
静止画メニュー	セルフタイマー	● 切：セルフタイマーを使わない 2秒：静止画ボタンを押して、2秒後に撮影（手ぶれ防止の効果がある） 10秒：静止画ボタンを押して、10秒後に撮影 • セルフタイマーの動作中は、残り時間（秒）が表示されます。 • 撮影開始をお知らせする音を消すには、共通メニューで「操作音」を「切」にします。
	静止画メディア	● HDD：静止画を本体のHDDに記録する SD：静止画をmicroSDカードに記録する

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 6 共通メニュー

メニュー	項目	内容
共通メニュー	時計合わせ	現在時刻を合わせる(P.30)
	日付表示配列	(日付配列) ● 年.月.日/日.月.年/月.日.年 (時間表示) ● 12h/24h
	日時表示	OFF 切:表示しない ● A オート:(撮影時)「撮影」に切り替えたとき、(再生時)動画や静止画を表示したとき、日付が変わったときに、約5秒間表示する ON 入:常に表示する
	プリセット	● キャンセル 実行:すべての設定をお買い上げ時に戻す
	画面明るさ	(暗く)－ ＋(明るく) •「← →」で画面の明るさを調節する。
	モニターバックライト	明るい:画面を常に明るくしたいとき 標準:バッテリーの消費を抑えたいとき ● A オート:屋外では「明るい」に、屋内では「標準」に、自動的に切り替わる ➡屋外に出ると、「LCD ▲」が約3秒間表示され、▲が点滅します ➡屋内に入ると、「LCD ▼」が約3秒間表示され、▼が点滅します

●印は、お買い上げ時の設定です

共通メニューでは、撮影時や再生時に共通する表示の設定などを変更できます。

メニュー	項目	内容
共通メニュー	落下検出	切：落としても停止しない ● 入：HDDの破損を防ぐため、本機を落とすと電源を切って撮影や再生を停止する • 本機を落とさなくても撮影や再生が停止するときは ➡「切」にする。 ➡動画メニューの「動画メディア」と静止画メニューの「静止画メディア」を、それぞれ「SD」にする。 •「入」にしてもHDDを保護できないことがあります。
	フォーカスアシスト	● B 青／ R 赤／ G 緑 ·フォーカスアシストボタンを押したときに、ピントの合った被写体の輪郭線が、設定した色で表示されます。
	リモコン	切：リモコンでの操作を受け付けない ● 入：リモコンで操作できる
	デモモード	切：設定しない ● 入：microSDカードを入れずに電源を入れ、「撮影」にすると、約3分後に本機の機能のデモが確認できる（ACアダプター接続時のみ）
	操作音	切：消す ● メロディー：操作時にメロディー音を鳴らす •ヘッドホンを接続すると、操作音が消えます。
	画面表示	切：アイコンや日付を表示しない ● 入：アイコンや日付を表示する •「切」に設定しても、「日付表示」の設定時は日時が表示されます。
	テレビ表示	● 切：テレビに、アイコンや日付を表示しない 入：常に表示する

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 7

出力設定／メディアメニュー

メニュー	項目	内容
出力設定メニュー	ビデオ出力	● 16:9：ワイドテレビに接続するとき 4:3：従来型のテレビに接続するとき
	コンポーネント出力	● D1：D1（480i）～D2（480p）のとき D3：D3（1080i）～D4（720p）のとき ・テレビのD端子に接続するときに、D端子の種類を設定します。
	HDMI出力（GZ-HD6の場合）	● オート1：通常はオート1に設定する オート2：オート1で正常に表示されないとき 480P：オート2で正常に表示されないとき ・1080p対応テレビに1080p信号を出力するには、オート1に設定してHDMIケーブルで接続します。 ・1080pで出力できるのは、再生モードのみです。
	HDMI出力（GZ-HD5の場合）	● オート：通常はオートに設定する 480P：オートで正常に表示されないとき
	HDMIカラー設定	● オート：通常はオートに設定する RGB：オートでは色が正常に表示されないとき
	HDMIエンハンス設定	● 切：通常は切に設定する 入：テレビのDVI端子に接続するとき（コントラストを自動的に調節する）
	i.LINK出力（ダビング）	● 1440 CBR：HDV入力に対応した機器にダビングするとき DV：DV入力に対応したビデオ機器にダビングするとき（すべての画質でダビング可能） ・HDV機器にダビングできるのは、画質を「1440 CBR」に設定して撮影した動画のみです。ただし、すべてのHDV機器との互換性を保証するものではありません。

お知らせ ●HDDクリーンアップとHDDデータ消去は、終了まで時間がかかります。ACアダプターを接続してください。（P.28）

出力設定メニューは、テレビなどに接続するときに設定します。
メディアメニューでは、動画や静止画をまとめて削除したり、整理したりできます。

メニュー	項目	内容
メディアメニュー	HDDクリーンアップ	実行：HDDに関わる不具合を解消できることがある •本機の性能を維持するため、定期的に実行してください。（データは削除されません） ●キャンセル
	HDDフォーマット	実行：HDD内のすべてのファイルを削除し、HDDをフォーマット（初期化）する ●キャンセル
	SDフォーマット	実行：microSDカード内のすべてのファイルを削除し、microSDカードをフォーマット（初期化）する •microSDカードが入っていないときは、選べません。 ●キャンセル
	HDDデータ消去	実行：本機を廃棄または譲渡するときに実行する（ダミーデータの上書きですべてのデータを消去し、さらにフォーマットする） •繰り返すことで、復元をさらに困難にできます。 ●キャンセル
	動画番号リセット	実行：動画を記録するフォルダを新しく作り、ファイル番号をリセットして「1」から始める •例）「PRG001」フォルダの「MOV029.TOD」 →「PRG002」フォルダの「MOV001.TOD」 ●キャンセル
	静止画番号リセット	実行：静止画を記録するフォルダを新しく作り、ファイル番号をリセットして「1」から始める •例）「101JVCSO」フォルダの「PIC_0259.JPG」 →「102JVCSO」フォルダの「PIC_0001.JPG」 ●キャンセル

●印は、お買い上げ時の設定です

準備
撮影・再生
編集・保存
パソコン
メニュー
困ったとき

故障かな!?と思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。不具合があるときは…

→①まず、以下の表にしたがって対応する。

→②それでも解決しないときは、本機をリセットする。(P.113)

→③それでも不具合があるときは、、電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずし、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

	こんなときは	ここを確かめてください
カード	microSDカードが入らない	●microSDカードの向きを確認する。(P.27)
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。
電源	低温メッセージを表示したあと、暖めていると電源が切れる	●低温から暖まったときは、HDDの動作確認のために、いったん電源が切れることがあります。
撮影中	撮影できない	●電源を入れる。 ●切換ボタンで「撮影」にする。
撮影中	勝手に撮影が停止した	●本機の温度が上がると、画面の「REC」が点滅し、そのまま上がり続けると、HDDの保護のため停止します。 ●大音量や振動する場所から移動する。 ●市販のmicroSDカードを入れ(P.27)、動画メニューの「動画メディア」と静止画メニューの「静止画メディア」を、それぞれ「SD」にする。 ●12時間連続撮影すると撮影が停止します。

撮影中

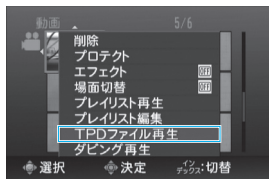
こんなときは	ここを確かめてください
自動でピントが合わない	●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。 ●オートフォーカスにする(P.47)。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、手動でピントを合わせる。
被写体が暗い	●逆光補正やナイトアイを使う。 ●明るさ補正を「+」側に設定する。 ●動画の場合、動画メニューで「感度アップ」を「AGC」または「オート」にする。 ●静止画の場合、静止画メニューで「感度」を「オート」や「400」などにする。
被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●明るさ補正を「−」側に設定する。
スポット補正できない	●ズーム倍率を10倍以下に抑える。
被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、ホワイトバランスの「ワンタッチ」で調節する。
映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。
デジタルズームできない	●動画メニューで「ズーム倍率」を「40倍」か「200倍」にする。

故障かな!?と思ったら…

	こんなときは	ここを確かめてください
撮影中	ホワイトバランスを設定できない	●ファンクションのエフェクトで「セピア」や「白黒」を使わない。 ●プログラムAEの「夜景モード」を使わない。
撮影中	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するmicroSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。
撮影中	日時表示がでない	●共通メニューで「日時表示」を「入」にする。
撮影中	機能が働かない	●機能を示すアイコンの表示を確認する。 ●アイコンが点滅または消えているときは、同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。
撮影中	画面がカクカクする、またはコマ落ちしたような画像になる	●機能を示すアイコンが表示されていることを確認する。 ●ナイトアイを無効に、シャッタースピードを「オート」に、エフェクトを「切」にする。
画面	アイコン表示が点滅または消える	●同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。
画面	画面が表示されない	●本機を操作する。 （ACアダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、動画/静止画ランプが点灯し、画面のバックライトが消えます。）

	こんなときは	ここを確かめてください
画面	バッテリー残量が正しく表示されない	●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがある。
画面	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。 （圧迫すると映像ムラが生じます。）
画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
画面	画面が見えにくい	●直射日光下など周囲が明るいと、見えにくくなります。
再生中	同じ映像が長く止まって見える 映像がカクカクした動きに見える	●microSDカードを交換する。 （microSDカードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。） ●クリーンアップやフォーマットを実行する。
再生中	音や映像が途切れる	●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。

故障かな!?と思ったら…

こんなときは	ここを確かめてください
再生中	
テレビの画面の一部が揺れて見える	●出力設定メニューで「HDMI出力」を「オート」にする。
撮影したはずの動画がない	●ファンクションメニューの「TPDファイル再生」を選び、TPDモードのインデックス画面で探す。 （管理情報が壊れた動画ファイルや、パソコンから書き戻した動画ファイルなどを再生できます。）
DVDライターを接続してバックアップDVDを再生しているときに、使えない機能がある	●バックアップDVDでは、以下の機能を利用できません。 【動画の再生時】 •特殊再生（スロー送り、スロー戻し、コマ送り、コマ戻し） •再生映像の静止画保存 •インデックスの日付検索 •再生時のエフェクト •再生ズーム（リモコンの機能） 【静止画の再生時】 •90度回転 •インフォボタン（ファイル情報、ヒストグラム） •再生時のエフェクト •再生ズーム（リモコンの機能）

	こんなときは	ここを確かめてください
再生中	色合いが違って見える	●ホワイトバランスを調節して撮影する。 ●テレビの色合いを調整してください。
再生中	雑音が聞こえる	●撮影中に本機を急に動かさない。(撮影中に本機を急に動かすと、ハードディスクの駆動音が記録されることがあります。)
再生中	テレビの画面が不自然に見える(たて長など)	●出力設定メニューで「ビデオ出力」をお使いのテレビに合わせる。
ダビング	i.LINKケーブルを接続して、HDV機器にハイビジョン画質でダビングできない	●次のすべてを確認する。 •動画メニューで「画質」を「1440 CBR」にして撮影する。 •プレイリストを作成し、プレイリストをダビングする。 (動画ファイルごとのダビングはできません。) •ダビングする際は、出力設定メニューで「i.LINK出力」を「1440 CBR」にする。
ダビング	i.LINKケーブルを接続しても、パソコンなどから操作できない	●本機を操作する。 (パソコンなどから操作できません。)
ダビング	ダビング時に、接続したビデオ機器が自動的に録画を開始しない	●ビデオ機器を手動で操作し、録画の開始と停止を行う。

故障かな!?と思ったら…

	こんなときは	ここを確かめてください
ダビング	プレイリストのダビング時に、再生されない動画がある	●HDV機器にハイビジョン画質でダビングする際は、画質が「FHD」「SP」「LP」の動画をプレイリストに含めない。（プレイリストの再生時に、これらの動画は再生されません。） ●出力設定メニューで「i.LINK出力」を「DV」にし、DVカメラやDVDレコーダーに標準画質でダビングする。 ●AVコードで接続し、標準画質でアナログダビングする。
その他	動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い	●メディア内のファイルをパソコンへコピーし、メディアから削除する。（メディアに静止画などが多数（約1,000 ファイル以上）あると、処理に時間がかかります。）
	本機が熱くなる	●故障ではありません。
	充電中、ランプが点滅しない	●バッテリー残量を確認する。（バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。） ●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。（範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。）
	リモコンがきかない	●電池を交換する。 ●共通メニューで「リモコン設定」を「入」にする。 ●野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。

■次の場合は故障ではありません。

●太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。
●画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
（液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります）

■HDDの性能を維持するには

➡定期的に、「HDDクリーンアップ」を実行する。(P.105)

■本機をリセットするには

①電源を「切」にする。
②本体からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。
③共通メニューの「プリセット」を実行する。

■HDDに不具合が生じたとき

➡①「HDDクリーンアップ」を実行します。(P.105)
（データは削除されません）

②不具合が解消しないときは、「HDDフォーマット」をします。(P.105)
（データは削除されます）

③それでも不具合が解消できないときには、フォーマット後にパソコンでチェックディスクを実行します。

④解消できない場合は、「ビクターサービス」に修理をご依頼ください。
（P.122）

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください
HDDに空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどのメディアに移す。
カードに空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどのメディアに移す。新しいmicroSDカードに交換する。
通信エラーです	●バッテリーをもう一度付け直す。
非対応フォーマットです	●microSDカードを入れ直す。
未対応のファイルです	●対応する形式のファイルを使う。
対応ファイルがありません	●静止画を撮影する。
フォルダ数が制限を超えています	●次の順に操作する。 ①ファイルをパソコンなどにバックアップする ②メディアメニューで「HDDフォーマット」を選び、決定する（microSDカードの場合は、「SDフォーマット」を選び、決定する） ③「実行」を選ぶ（決定しない） ④「イベント」ボタンを押したまま、「決定」ボタン（十字キー）を押す
電源が入っていないかまたは非対応のUSB機器です	●接続したUSB機器の電源が入っているか確認する。
カードへ記録できませんでした	●動作確認済みのmicroSDカードか確認する。

こんな表示	ここを確かめてください
HDDへ記録 できませんでした	●クリーンアップする。 ●振動や衝撃を与えないようにする。
記録を中止しました	●「OK」を選んで撮影を中止する。 ●本機に振動や衝撃を与えないように撮影する。
プロテクトが かかっています	●ファンクションメニューの「プロテクト」で解除する。
設定枚数エラー	●1～999枚に設定する。
イベント記録が ありません	●イベントを設定する。
プレイリストが ありません	●プレイリストを作成する。
プレイリストに登録 されているシーンが 存在しません いくつかのシーンが 再生されません	
作業領域が不足して いるため 処理を中断しました	●プレイリストに登録する動画を、99ファイル以下に減らす。
カードエラー	●microSDカードを入れ直す。 ●microSDカードの端子から汚れを取り除く。 ●microSDカードを入れてから電源を入れる。
HDDエラー	●クリーンアップやフォーマットを実行する。

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください
カードに正常に記録できない可能性があります	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。
カードを正常に再生できませんでした	
HDDに正常に記録できない可能性があります	
HDDを正常に再生できませんでした	
フォーマットされていないカードです	●フォーマットする。
日時を設定してください	●日時を設定する。（設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。）
修復しますか?	●「OK」を選んで修復する。
動画モードでは使えません	●動画メニューで動画メディアを「HDD」にする。 ●microSDカードを交換する。（弊社のハイビジョンハードディスクムービー以外で撮影したカードは使えません。）

付属ソフトで困ったときは…

付属のソフト(P.80)の操作などで困ったときは、下記へお問い合わせください。
(パソコン本体の操作がわからないときは、パソコンの取扱説明書をご覧ください)

「CyberLink BD Solution」と「QuickTime Component for Everio」のお問い合わせ先

サイバーリンク株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川5-6-27
ファーニスビル5階

■ご連絡いただきたい内容

- 登録されたCD-key
  「JH2899959N769G68」
- パソコンのOSバージョン
  例：Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号：0570-080-110
(ナビダイヤルが使用できない場合)
03-3516-9555
受付時間：月～金
10：00～13：00／
14：00～17：00
(祝日、弊社指定の休業日を除く)

インターネットでの問い合わせ

http://jp.cyberlink.com/support/

●ご質問いただく前に、サポートページの「よくあるご質問とその答え」をご覧ください。

「フォト・ナビゲーター」のお問い合わせ先

日本ビクター株式会社

DVご相談窓口

■ご連絡いただきたい内容

- パソコン(Windows)のOSバージョン
  例：Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号：045-450-2770

インターネットでの問い合わせ

http://www.victor.co.jp/

●ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社では、お使いのパソコンについての基本的な操作方法、OS、ほかのアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

●ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて(P.122)

■対応する記録型光学ドライブのご確認(Windows)

●記録型DVDドライブ
http://jp.cyberlink.com/jpn/products/powerproducer/4/comjp6.jsp
●記録型ブルーレイドライブ
http://jp.cyberlink.com/jpn/products/powerproducer/4/comjp7.jsp

仕様

一般		
電源	ACアダプター使用時　：DC11V バッテリー使用時　：DC7.2V	
消費電力	GZ-HD6	7.1W(モニターバックライト「標準」の場合)
	GZ-HD5	6.9W(モニターバックライト「標準」の場合)
外形寸法(mm)	GZ-HD6	79mm×73mm×130mm (幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず)
	GZ-HD5	78mm×73mm×130mm (幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず)
質量	GZ-HD6	本体　：約500g(グリップベルトを含む) 撮影時：約585g(バッテリーBN-VF815、グリップベルトを含む)
	GZ-HD5	本体　：約480g(グリップベルトを含む) 撮影時：約565g(バッテリーBN-VF815、グリップベルトを含む)
動作環境	許容動作温度：0℃～40℃、許容保存温度：－20℃～50℃ 許容相対湿度：35%～80%	

カメラ部・液晶画面部	
映像素子	1/5型57万画素×3(3CCD) 撮像エリア：53万画素×3
レンズ	F1.8～F1.9、f=3.3mm～33.0mm (35mmカメラ換算　39.5mm～395mm)
フィルター径	43mm(ネジピッチ0.75mm)
最低照度	7ルクス(シャッタースピード：1/30) 1ルクス(ナイトアイモード、シャッタースピード：1/2～1/250)
液晶画面	2.8型、20.7万画素、ポリシリコンカラー液晶
ズーム	光学ズーム10倍まで、デジタルズーム200倍まで 再生時5倍まで

内蔵ハードディスク部		
容量	GZ-HD6	120GB
	GZ-HD5	60GB

時計用電池	
種類	一次電池

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

端子部

AV端子	映像：アナログ出力 音声：ステレオ、アナログ出力
マイク端子	φ3.5mmミニジャック：ステレオ、プラグインパワー対応
コンポーネント端子	Y Pb Prコンポーネント出力
HDMI端子	HDMI™(V.1.3　x.v.Color™対応)
i.LINK端子	4ピン(i.LINK/IEEE1394準拠)出力
USB端子	ミニUSB-ABタイプ、USB2.0
ヘッドホン端子	(GZ-HD6のみ)φ3.5mmミニジャック：ステレオ

ACアダプター(AP-V14)

電源	AC 100V—240V、50Hz／60Hz
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）
外形寸法(mm)	50×27×71（幅×高さ×奥行き）（コードとACプラグを含まず）
質量	約100g

バッテリー(BN-VF815)

電圧	DC 7.2V
容量	1460mAh
外形寸法(mm)	30.5×32.5×52（幅×高さ×奥行き）
質量	約85g

リモコン(RM-V750)

種類	DC3V（ボタン電池 CR2025）
電池寿命	約1年(使用頻度により変わる)
動作距離	約5m（正面軸上）
許容動作温度	0℃～40℃
外形寸法(mm)	42×14.5×91（幅×高さ×奥行き）
質量	約30g（ボタン電池を含む）

静止画

記録方式	JPEG準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	(P.59)
画質	ファイン/スタンダード
記録メディア	ハードディスク(内蔵)、microSDカード(市販)

動画

信号方式	デジタルハイビジョン方式	
録画/再生方式	SD-VIDEO 規格準拠　MPEG-2（映像）、MPEG-1 Layer2（音声）	
拡張子	.TOD	
動画記録画素	1080/60i（画面比16:9）	
画質・音質	FHD	1920×1080i、平均26.6Mbps VBR
	SP	1440×1080i、平均19Mbps VBR
	LP	1440×1080i、平均11.1Mbps VBR
	1440 CBR	1440×1080i、固定27Mbps CBR
音質	48kHz、384kbps	
記録メディア	ハードディスク(内蔵)、microSDカード(市販)	

技術情報

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

バッテリーの処分について

●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ: 有限責任中間法人JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

他社製品の登録商標と商標について

・HDMI(High-Definition Multimedia Interface)と HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing, LLCの商標です。
・i.LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。
・i.LINKと i は商標です。
・"x.v.Color"と x.v.Color は商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

さくいん

AUTO ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・ 32
AV 端子 ・・・・・・・・・・ 17, 50, 74
DC 端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 17, 28
DPOF ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
DVD ライター ・・・・・・・・・・・・・・・ 62
D 端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
HDMI 端子 ・・・・・・・・・・・・・・ 17, 48
i.LINK 端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
microSD カード ・・・・ 13, 27, 76
USB 端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
x.v.Color ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
イベント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
イベント検索 ・・・・・・・・・・・・・・・ 42
インストール ・・・・・・・・・・・ 82, 90
インデックス ・・・・・・・・・・・・・・・ 42
エフェクト ・・・・・・・・・・・・・ 60, 94
音量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
回転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
画質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98, 100
画像サイズ ・・・・・・・・・・・・・・・ 100
カラーバー ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
逆光補正 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
切換ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
コピー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
コンポーネント端子 ・・・・・・・・・ 17
再生ズーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
残量時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
シャープネス ・・・・・・・・・・・・・・・ 95
充電 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
ズーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
スポット補正 ・・・・・・・・・・・・・・・ 20
スライドショー ・・・・・・・・・・・・・ 37
静止画モード ・・・・・・・・・・・・・ 3, 33
ゼブラ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
セルフタイマー ・・・・・・・・・・・・ 101
ダイレクトバックアップ ・・・・・・ 85
ダビング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
テレマクロ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
電源 / モードスイッチ ・・・・・・・・ 32
動画モード ・・・・・・・・・・・・・・・ 3, 33
動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・ 82, 88
ナイトアイ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
バッテリー ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
バッテリー残量 ・・・・・・・・・・・・・ 29
場面切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
ヒストグラム ・・・・・・・・・・・・・・・ 95
日付検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
ビデオデッキ ・・・・・・・・・・・・・・・ 74
ピント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
ファイル情報 ・・・・・・・・・・・・・・・ 19
ファンクション ・・・・・・・・・・・・・ 92
フォーカスアシスト ・・・・・・・・・ 46
ブラケット ・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
プレイリスト ・・・・・・・・・・・・・・・ 51
プログラム AE ・・・・・・・・・・・・・・ 44
ヘッドホン端子 ・・・・・・・・・・・・・ 17
ホワイトバランス ・・・・・・・・・・・ 94
マイク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
マニュアルフォーカス ・・・・・・・・ 46
ムーブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
リセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・ 22, 26
連写 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな?!と思ったら…」（P.106）にしたがって、まずご確認を。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本機や付属品、microSDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ハードディスクムービー
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■保証期間中は
保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理の際は、取扱説明書のP.123をコピーしたものに、必要事項をご記入の上、本機に添付してください。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●ご不明な点や修理に関するご相談は…
お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口案内」（別紙）にご相談ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

お預かりした商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いします。しかし、修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってHDD（ハードディスク）の初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。そのため、事前にバックアップしておかれることをおすすめします。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに✓マークをお願いします。
□同意する　□同意しない

日付：＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日
ご署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

修理や点検を依頼されるときは、この同意書のコピーにご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

製品についてのご相談・修理のご依頼

まず、お買い上げの販売店にご相談ください

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は…

修理に関するご相談

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください

技術的なご相談

DVご相談窓口

電話：(045) 450-2770

お買い物情報や全般的なご相談

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-2828-17

●携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話：(045) 450-8950
FAX：(045) 450-2275

〒221-8528
横浜市神奈川区守屋町3-12

愛情点検

●長年お使いのムービーの点検をぜひ!

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある	▶	ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M8H7 0108FOH-HT-VP